

2020 年 6 月

オバマプロジェクト 活動報告書

県立広島大学
オバマプロジェクト

オバマプロジェクトの概要

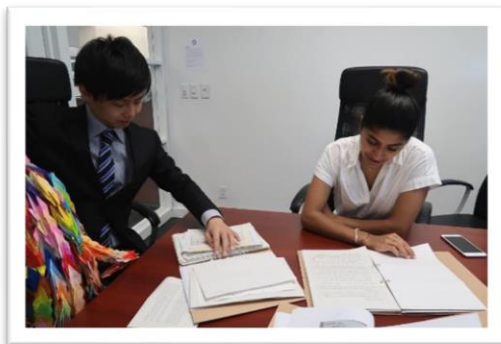
このプロジェクトは、2017年6月に始まりました。学生の力で、広島から平和について発信し、また、ヒロシマについて考えてもらうことを目的に活動しています。

これまでの活動

2016年にオバマ氏は、現職アメリカ大統領として初めて広島を訪問され、平和公園で演説をされました。2016年のオバマ氏の広島訪問を受けて、広島県内全域の小中高に、オバマ氏宛てのレターと折り鶴の作成を依頼する文章を発出するとともに、学校訪問を行いました。200校程度の学校から返信を頂き、集まった折り鶴を繋げ手紙を英語に翻訳しました。



これらの折り鶴と手紙を持って、2019年2月にワシントンD.C.にあるオバマ財団を訪問しました。実際に折り鶴と手紙を見せながら、プロジェクトの報告をしました。するとこの活動にとっても感動していただき、オバマ氏から手紙とサイン入りの折り鶴を頂くことができました。





BARACK OBAMA

February 7, 2019

Prefectural University of Hiroshima
Hiroshima, Japan

Dear PUH Students:

Nimi let me know about the wonderful meeting you shared yesterday, and I am pleased to share the one-thousandth crane with you—a symbol of the limitless potential in each of you and each one of the students who wrote me such thoughtful and inspiring letters.

Michelle and I believe in you, we are rooting for you, and we are counting on you to pick up the baton, continue talking about the tough issues your generation will soon need to get to work on solving, and help lead our world toward our brighter, more beautiful shared future.

Sincerely,

A handwritten signature in black ink, appearing to be "Barack Obama", written in a cursive style.

【翻訳】

バラク・オバマ

2019年2月7日

県立広島大学
広島、日本

親愛なる 県立広島大学の学生へ

Nimiさんより、昨日共有していただいた内容がとてもすばらしかったと聞きました。そして、私は1000羽目の折り鶴をあなたたちと共有することを嬉しく思います。その折り鶴は、無限の可能性を持つあなたたちと、心のこもった感動的なレターを書ってくれた、児童・生徒たちの象徴です。

ミシェルと私はあなたたちを信じています。私たちはあなたたちを応援しています。そして、私たちはあなたたちに期待しています。あなたたちの世代が、間もなく解決しなければならない困難な課題を引き継ぎ、話し合い続けることで、私たちの世界がより明るく、より美しく共有された未来に向いますように。

真心を込めて
バラク・オバマ



(以下は、オバマ財団にお送りした 2019 年度活動報告書の日本語版になります。)

2019 年度は県立広島大学の学生 10 名で活動を行ってきました。
2019 年度の 1 年間の活動を報告させていただきます。

2019 年度 Obama Project 活動報告書

今年度の活動の経緯

私たちは、オバマ氏から頂いた手紙の内容を受けて、2019 年度の 5 月に活動を再スタートしました。激励のお手紙とサイン入りの折り鶴を頂きましたこと心より感謝しております。私たちは 5 月から新メンバーの募集をし、6 月から 10 名のメンバーを中心に多くの学生の協力のもと今年度の活動を行ってきました。今年度は、オバマ氏から頂いた手紙の内容をうけて、「学生同士で平和について考える時間を持つ」ということを目的に活動してきました。

活動報告①

今年度の活動として 7 月 24 日に、県立広島大学の学生で「平和」について議論をし、ともに平和について考える場を持ちました。

本大学の教授に協力していただき、約 70 名の学生と議論を行うことができました。メンバーで 1 時間 30 分の計画を立て、「今後より良い世界にしていくために平和教育の在り方を模索し、広島県内の大学に通う大学生として何ができるか考える」というテーマを設定しました。議論を行うにあたって、今まで受けてきた平和教育について振り返る時間を設けるために出身の地域ごとに班分けをしました。

以下は 7 月 24 日の計画です。

平和に関する学生議論計画

テーマ：『今後より良い世界にしていくために平和教育の在り方を模索し、
広島県内の大学に通う大学生として何ができるか考える』

班分け：地域ごとに分類

1 班	6 人	愛媛、高知、香川	6 班	8 人	安佐南区
2 班	5 人	島根、山口	7 班	7 人	東広島、熊野、尾道、福山、大竹
3 班	7 人	沖縄、大分、鹿児島、京都、富山	8 班	8 人	呉、三原
4 班	8 人	府中町、西区、東区、安芸区	9 班	8 人	安佐北区、佐伯区
5 班	5 人	廿日市市、中国留学生	10 班	8 人	中区、南区

議論のテーマ：下記の4つ

- 1.今まで受けてきた平和教育について振り返る。
- 2.現在の平和教育のさらなる改善点を考える。
- 3.今後より良い世界にしていくためにどのような平和教育が有効か、
具体的な案を提案する。
- 4.広島に住む若者としてどのような平和活動をしていく必要があるか、
具体的な案を提案する。

班ごとにファシリテーター、タイムキーパー、書記を決めて議論を行う。

上記の4つの内容を模造紙にまとめてもらい、班ごとに3-4分程度で発表。

発表の後で、1分の質疑応答の時間をもうける。

＝タイムスケジュール＝

0分	グループごとに着席、各班に模造紙とペンを配布	(2分間)
2分	授業の流れを説明、資料を配布	(8分間)
10分	グループごとに議論開始	(25分間)
35分	グループごとの発表 5分×10班	(50分間)
85分	総括	(5分間)
90分	終了	

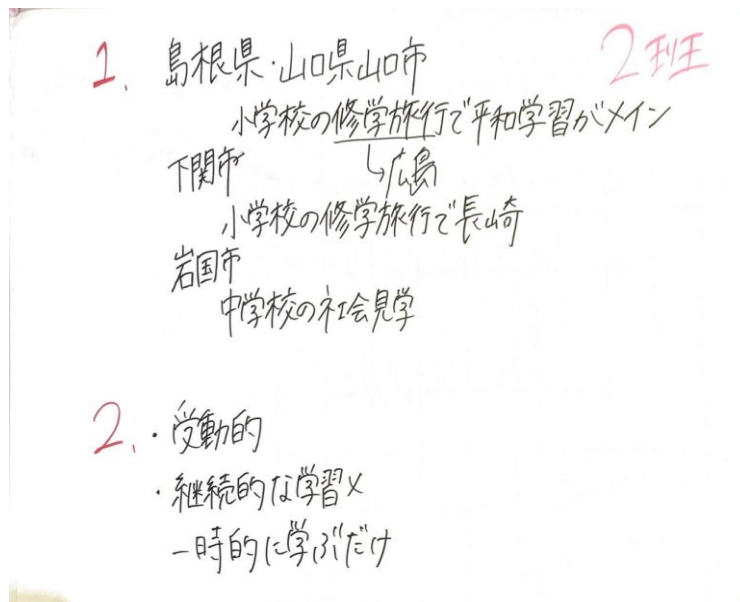
上記の授業計画をもとに議論を実施しました。

議論の時間は25分程度あり、どの班でも白熱した議論が行われていました。

以下は各班が作成した議論のまとめです。

1. 8月6日が^{1 班}登校日だった
人がグループの 6分の1
2. 受動的、必要最低限の
ことしか学んでいない
3. 能動的なインタビュー
話を聞くだけでなく、自分たちで
考えて行動に移す
4. ^{1 班}
 - ・オバマプロジェクト
 - ・県外、国外に伝える
 - ・映像などで記録を残して、伝える
 - ・考えやすいテーマから学ぶ
 - ・実際に原爆ドームなどに訪ねられる

(↳ group's poster of Group 1)



3. 主体的な学習

4. 戦争経験者の方たちが減っていくので、映像化など記録に残す
↓
次世代への継承

(↳group's poster of Group 2)

1. 長崎平和祈念像に行き、折々平和を渡した。
元特攻隊員の話を書いた。(鹿児島)
8月9日が登校日で被爆者の話を聞いた。
6月23日に学校会社林で南に向かて黙とうした。
2. 一時的。受動的。
地域差がある。過去の体験ばかりで未来の
結果(被害)ばかりをみて平和への取り組みにつなげてない。
過程はあまり学ばない。
3. 「自分の身のまわりから平和を探してみる」
最初から、広島と長崎に限定した平和ではなく、
広い意味での平和(友達関係、難民等の世界問題)
を考える。「あなたにとっての平和は？」
4. 広島に住む若者だからこそ、広島の前爆の
ことにフォーカスするのではなく、様々な視点から
見た平和を発信していくべき。

(group's poster of Group 3)

4 班

1. 平和公園、資料館見学
語り部から話を聞く
2. 語り部の高齢化
マニネリ化
3. 歴史を学ぶ
4. イベントを行う
SNSで情報発信

(↳group's poster of Group 4)

- 5グループ
- 1 ○原爆ドーム・資料館の見学
 - 被爆者の体験談をきく
 - ハワイのパールハーバーの訪問
 - 2 ○見学ばかり
 - 「原爆」についてに偏りすぎ
 - 刺激の強い展示や映像を取り扱わない
 - 3 ○被害者としての面だけでなく、加害者としての面も知る。
⇒能動的な学習につながる。
 - 4 ○原爆以外のことも学ぶ。
 - 発信する術も学ぶ。
 - 被爆者の方が生きているうちに話を聞いて次世代に語り継ぐ。
- ◎授業のまとめとして歌をつくる。

(↳group's poster of Group 5)

- ① 折りづるを折る 被爆体験者のお話をきく
平和公園に行く 平和への作文
- ② 高校における学習機会が減っている
受動的な学習が多い
- ③ 戦争をするに至った歴史を学ぶ
学活などの授業で平和活動を取り入れる
- ④ 語り手2世を育成する
ボランティアなどの平和活動をSNSで発信していく
- 6
班

(group's poster of Group 6)

1. 原爆資料館見学, 被爆者の話, 千羽鶴折り
 2. マイナスイメージ, 重い, 堅苦しい
 - 原爆に偏りすぎている ◦ 地域差
 - 被爆者の話を聞く機会が少ない
 3. 能動的に学習 (話し合い・平和新聞作り)
 - 他国の視点からも学ぶ (ロールプレイ)
 4. 若者が若者へ
 - SNSの活用 (外国にも発信)
 - ボランティアへの参加
- ⑦

(group's poster of Group 7)

8班

1. 平和公園資料館に行く。
ビデオを見る。実体験を聞く。
戦時給食、体験学習。
2. 語り部後継者問題。
8月6日の登校日の有無。
3. 語り部チャンネル (映像として残す)
戦争全体を学ぶ
4. 観光客に対してインタビューをし、
その結果を全国に発信する。

(↳ group's poster of Group 8)

- ① 被爆者の話を聞く → 劇
- ・ビデオ
 - ・折リ鶴
 - ・修学旅行で鹿児島・長崎へ
 - ・おいちゃんおばあちゃんに電話して話を聞く

② 問題点

- ・毎年同じことをしてる
- ・記憶に残ってない
- ・受動的
- ・日本(広島)がされてきたことばかり
- ・原爆にかたよりすぎ

③ 具体案

- ・戦争の原因を考える学習
- ・劇

④ 具体案

- ・必要はある*
- ・SNSの活用
(原爆投下時の若者がInstaをもっていたら...)
- (当時の人の日記などをもとにする)

9/24

(group's poster of Group 9)

7月-7月10

- 1
- ・8月6日は登校日
 - ・平和資料館に行く
 - ・被爆者による講演会
 - ・市内小学校の資料館
- 知覧
折リ鶴
沖縄

2

- ・受動的
- ・被害者意識が強く、主観的すぎる内容

3

- ・教育機関などで、原爆投下に到った経緯を客観的に学習する。

4

- ・広島以外の人たちに発信する
- ・小学生～大学生でグループをつくらせSNSを使った、平和についての企画を立てる。

(group's poster of Group 10)

授業を終えて、最後に参加してくれた生徒に感想を尋ねると、「平和学習で学ぶ内容が地域によって異なっている。」「普段あまり議論することのない平和という難しいテーマを同世代の仲間と話すことができてよかった。」などの意見がありました。

活動報告②

他県出身の学生も多く、様々な地域からの学生が集まっていたため、授業後にアンケートを配布し、今まで受けてきた平和教育について調査を行いました。

以下は配布したアンケート用紙です。

1. 8月6日は登校日でしたか。

小学生のとき (1.登校日だった、2.登校日ではなかった) 学校名: _____

中学生のとき (1.登校日だった、2.登校日ではなかった) 学校名: _____

2. 修学旅行で平和学習はしましたか。

小学生のとき 場所: _____ したこと: _____

中学生のとき 場所: _____ したこと: _____

3. 今まで受けてきた平和学習にどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものすべてを選択してください(複数回答可)。

1. 怖い 2. 楽しい 3. おもしろい 4. 残酷 5. ためになる 6. 役に立たない 7. つまらない,飽き飽きする 8. わくわくする 9. テーマとして重い 10. テーマとして軽い 11. もっと学びたい 12. これ以上学びたくない 13. 真剣に考えたい 14. 真剣に考えても仕方がない 15. 大切な課題 16. 大切な課題ではない 17. 学んでも仕方がない 18. その他 _____

4. 今まで受けてきた平和学習は平和への思いを強くしたと思いますか。

1. まったく思わない 2. あまり思わない 3. そう思う 4. とてもそう思う

5. 今までどのような平和教育を受けてきましたか。

- 1.戦争、2.原爆、3.同和問題、4.いじめ、5.差別問題 6.その他 _____

6. 今まで受けてきた平和教育として戦争を扱った授業では、どのようなテーマが取り上げられてきましたか。あてはまるものすべてを選択してください(複数回答可)。

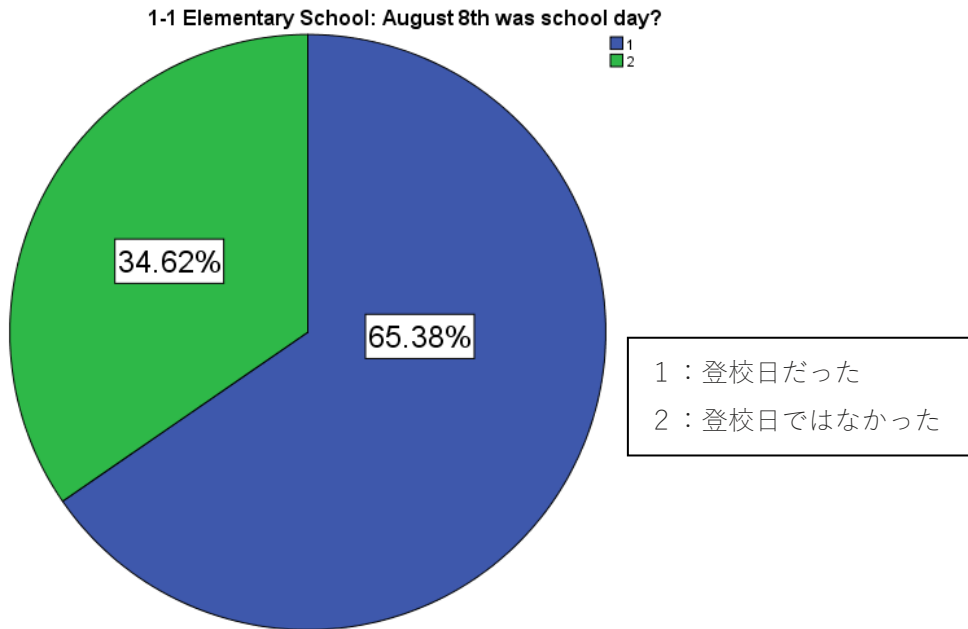
1. 開戦時のこと(真珠湾攻撃に至った背景を含む) 2. 日本のアジア侵略 3. 学童疎開 4. 東京大空襲 5. 大阪大空襲 6. 自分が住む地域の空襲被害 7. 沖縄戦(ひめゆり学徒隊を含む) 8. 特攻隊 9. 原爆投下(広島) 10. 原爆投下(長崎) 11. 戦後の混乱期のこと 12. GHQによる統治 13. 日本国憲法の誕生 14. サンフランシスコ平和条約 15. 戦後復興のこと(高度経済成長を含む)

7. 今まで受けてきた平和学習の学びの方法は総じて受動的でしたか。能動的でしたか。

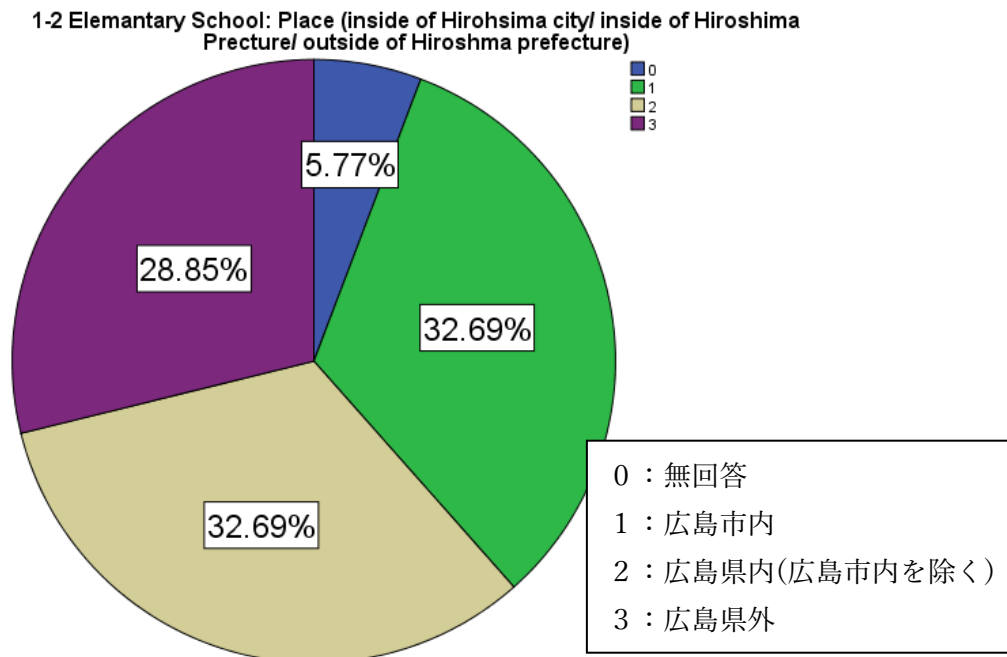
1. 受動的だった 2. 能動的だった

以下はＳＰＳＳによるアンケートの単純集計結果です。
配布部数は 70 枚、回収部数は 52 枚でした。

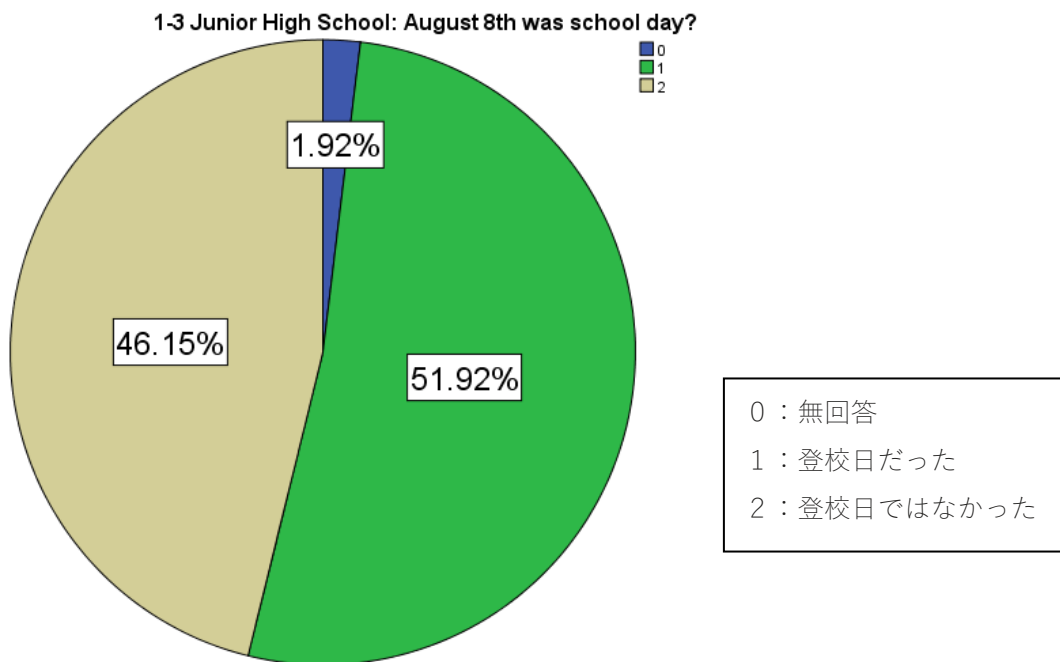
1－1 小学生のとき 8 月 6 日は登校日でしたか。



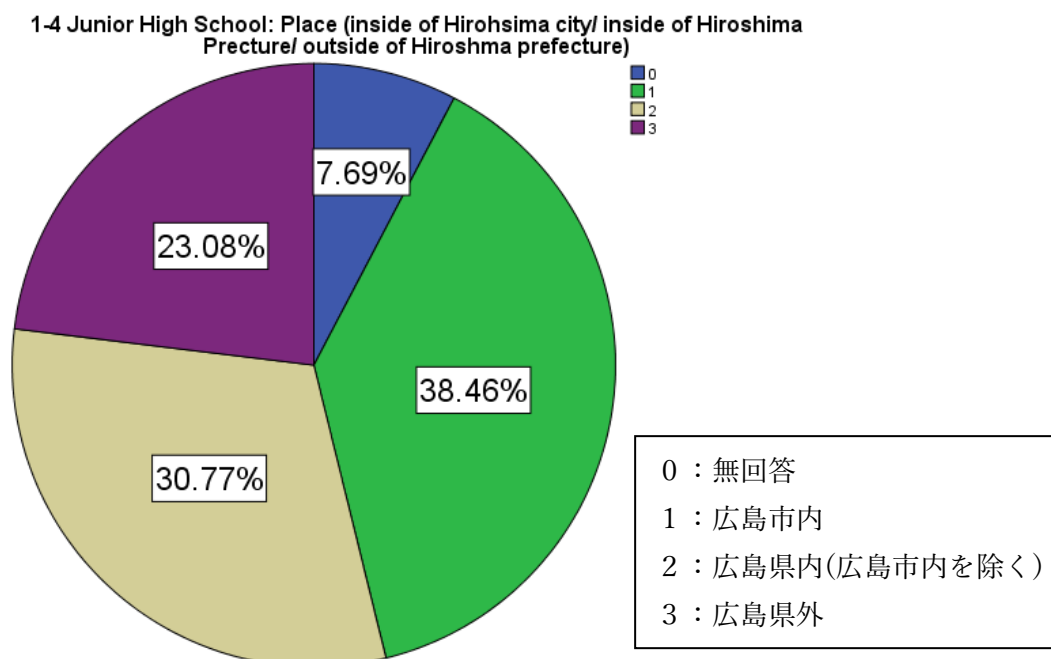
1－2 小学校の場所



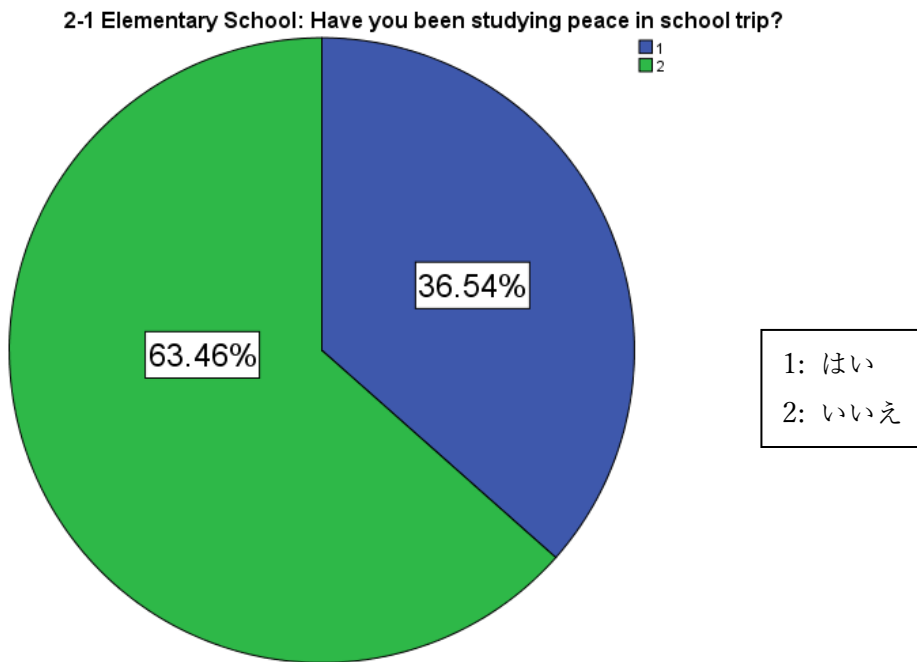
1-3 中学生のとき 8月6日は登校日でしたか。



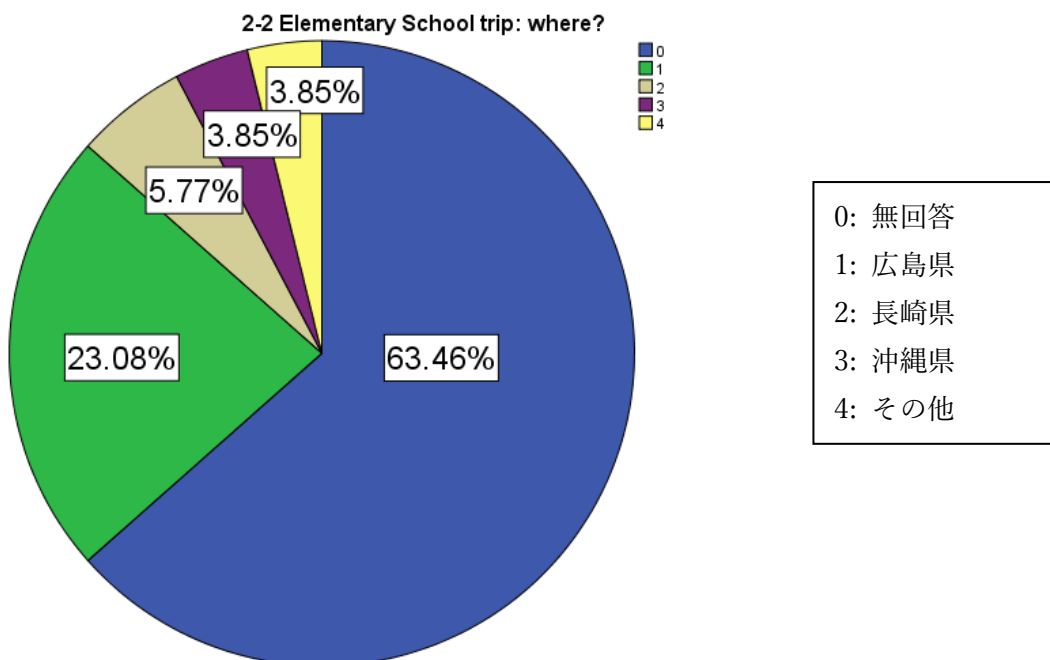
1-4 中学校の場所



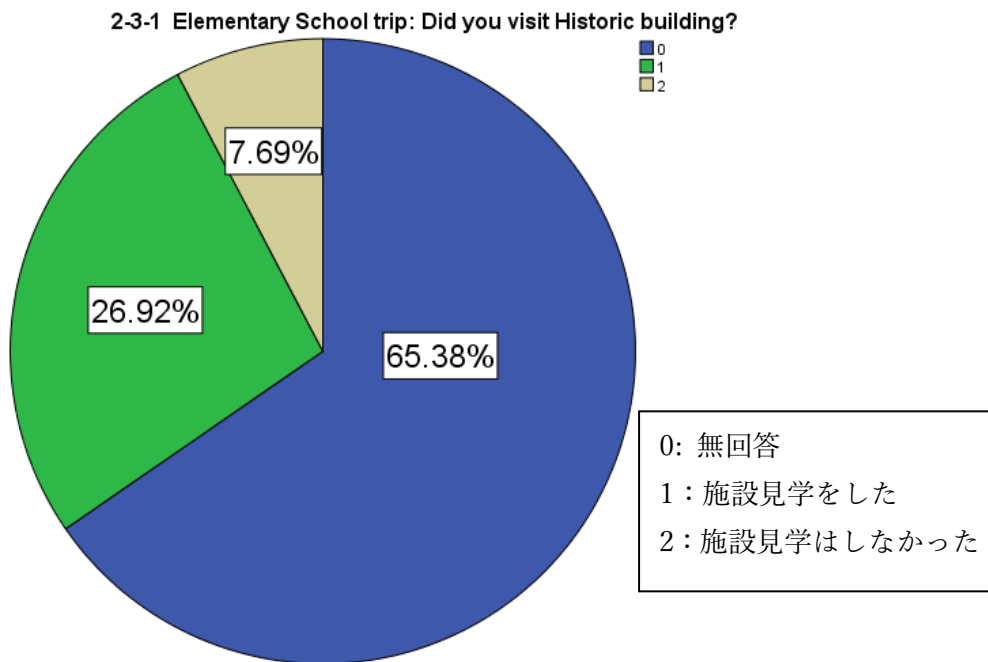
2 - 1 修学旅行で平和学習はしましたか。 (小学校)



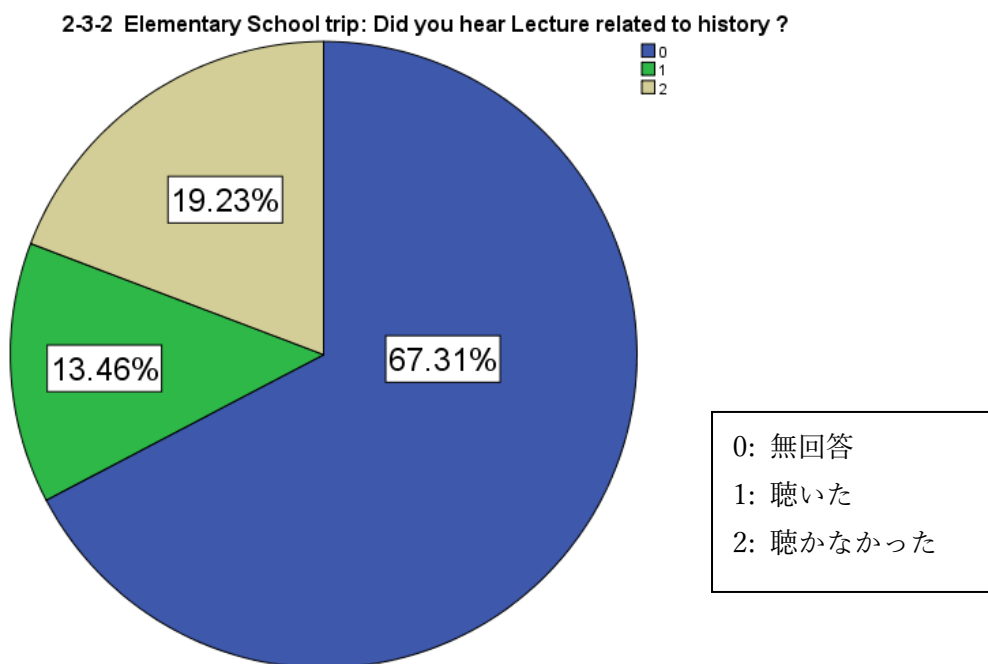
2 - 2 修学旅行先 (小学校)



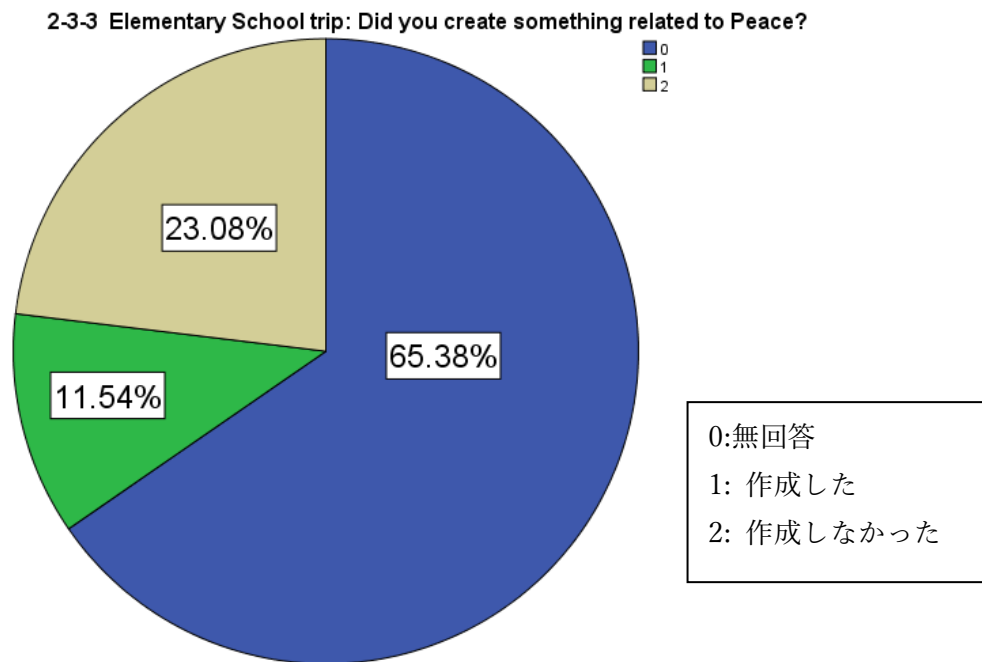
2－3－1 修学旅行のプログラム：資料館などの施設見学（小学校）



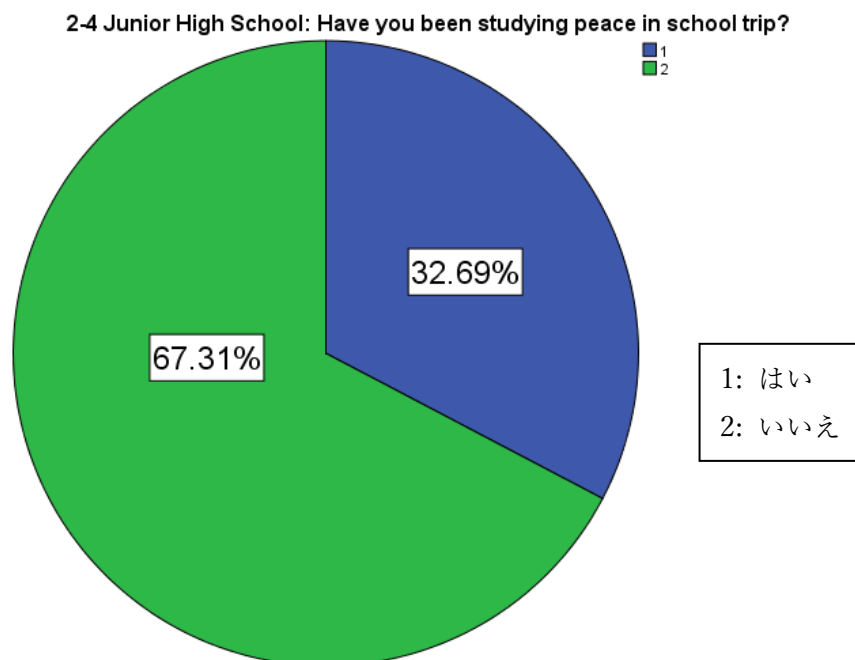
2－3－2 修学旅行のプログラム：戦争体験などの講話（小学校）



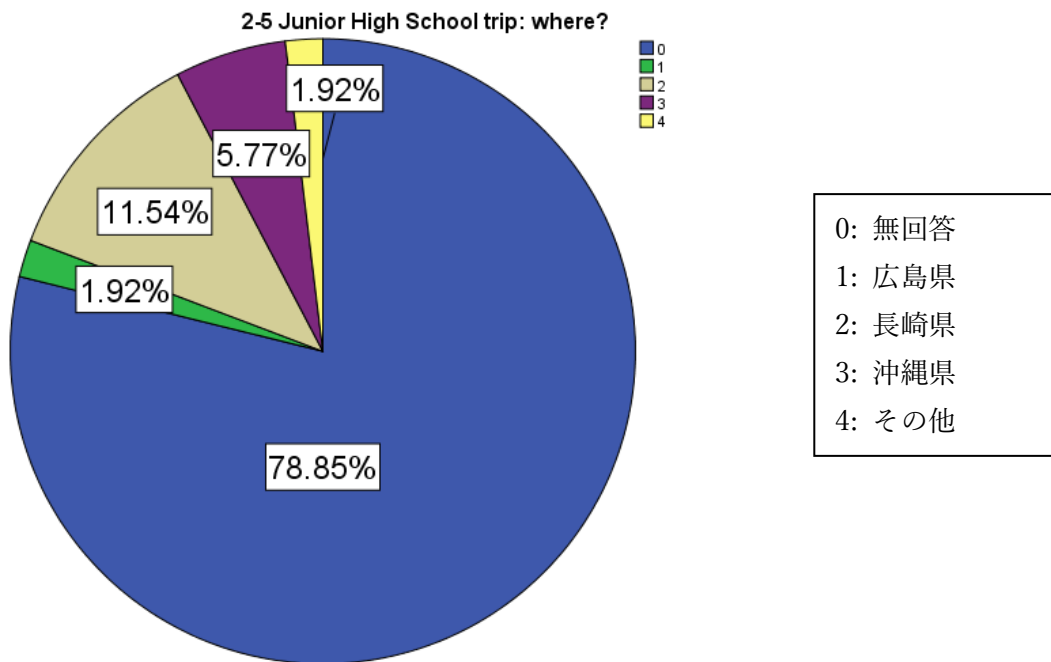
2－3－3 修学旅行のプログラム：折り鶴やポスターなどの作成（小学校）



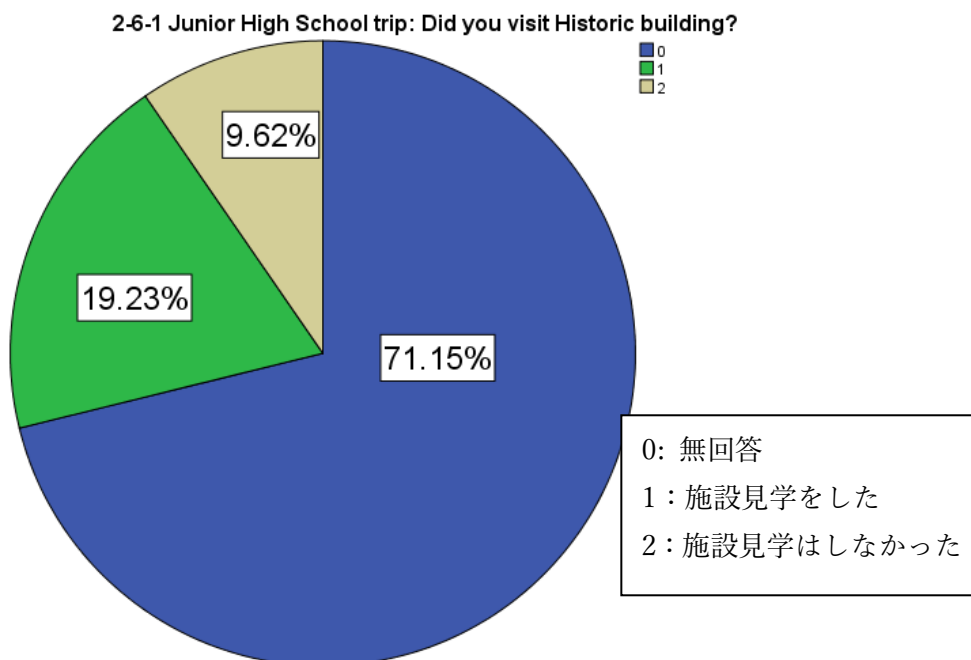
2－4 修学旅行で平和学習はしましたか。（中学校）



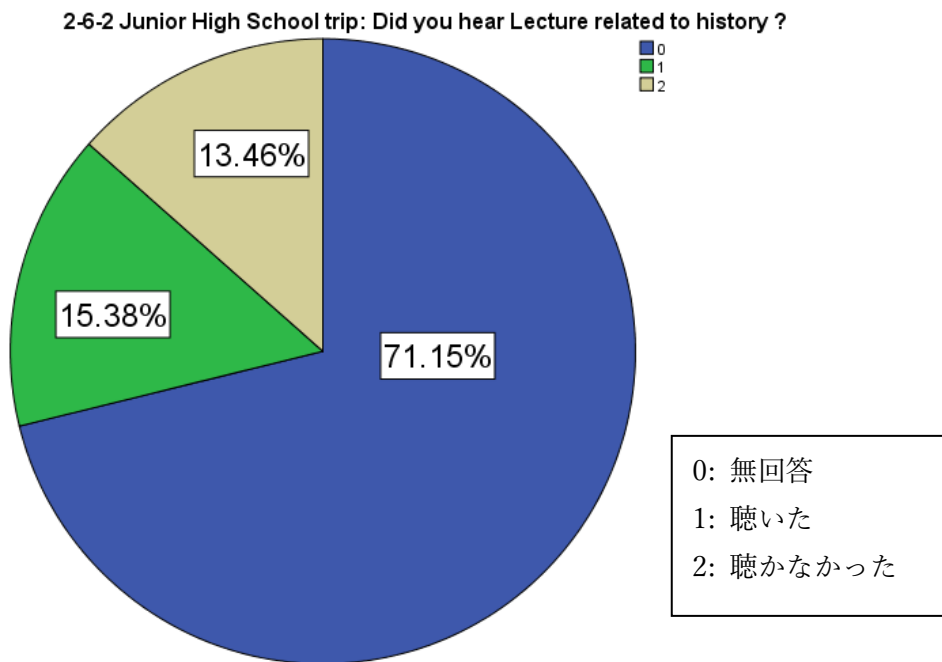
2－5 修学旅行先 （中学校）



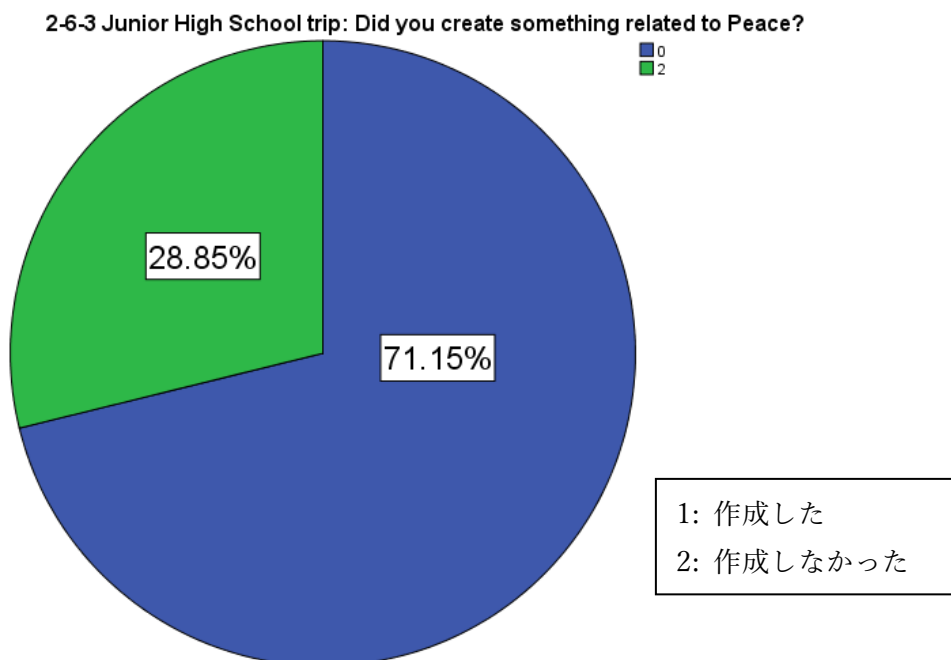
2－6－1 修学旅行のプログラム：資料館などの施設見学 （中学校）



2－6－2 修学旅行のプログラム：戦争体験などの講話（中学校）

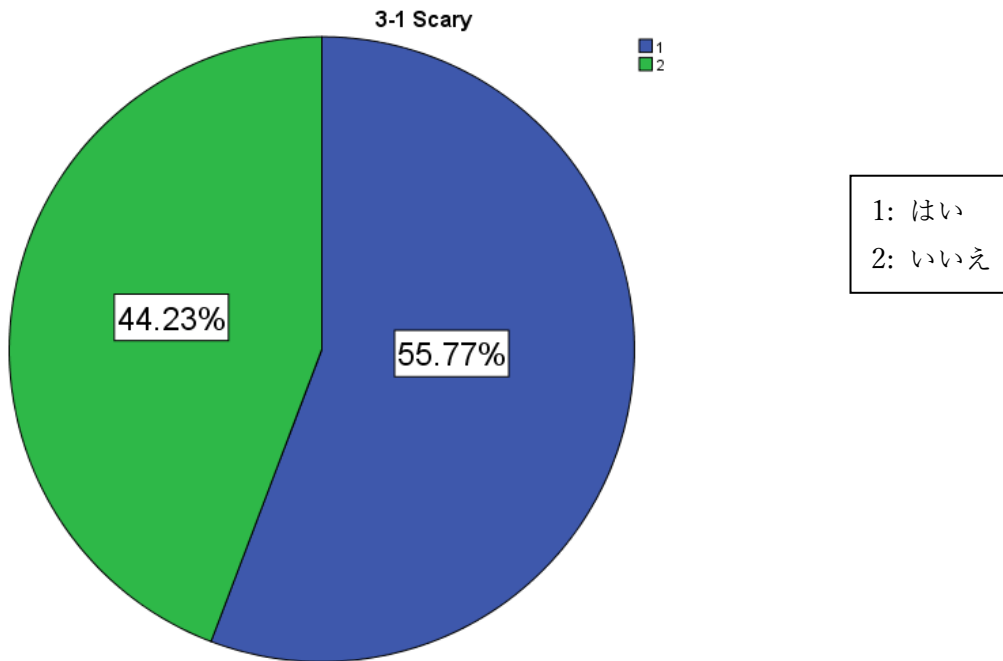


2－6－3 修学旅行のプログラム：折り鶴やポスターなどの作成（中学校）

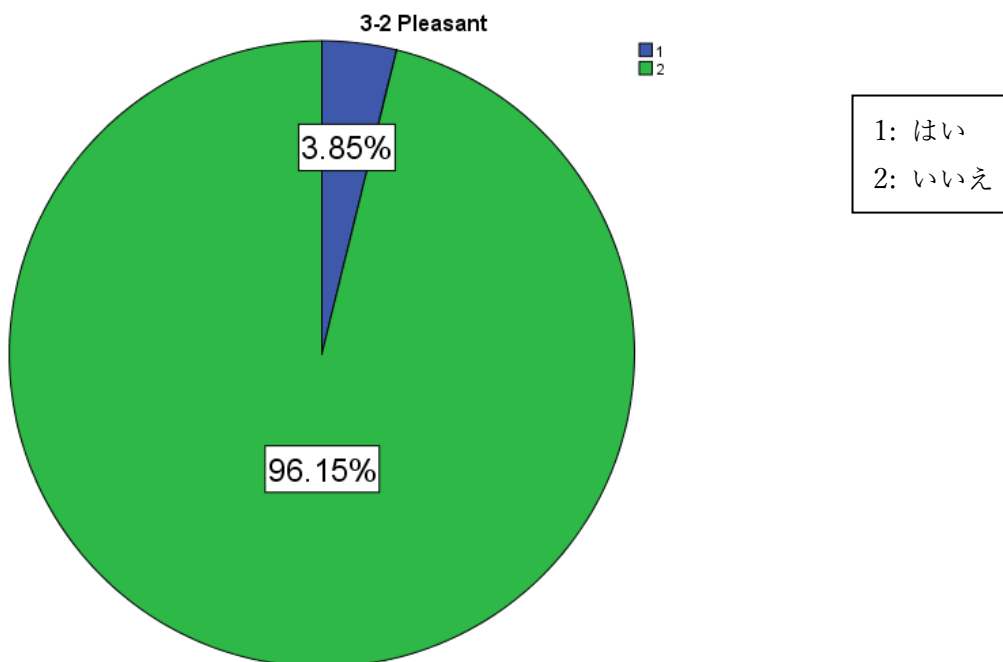


3. 今まで受けてきた平和学習にどのようなイメージを持っていますか。

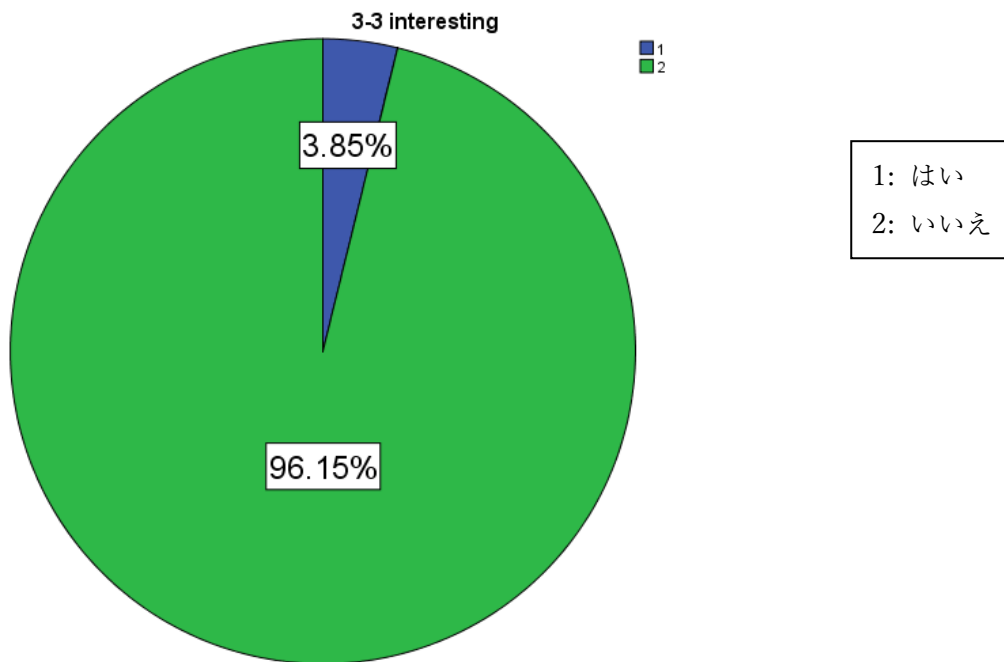
3－1 怖い



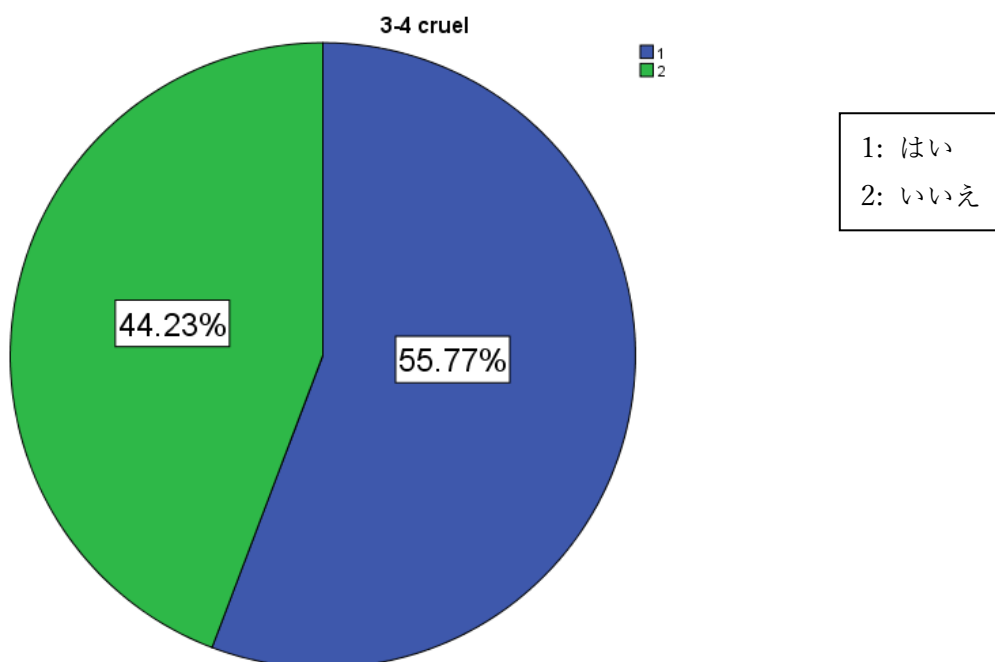
3－2 楽しい



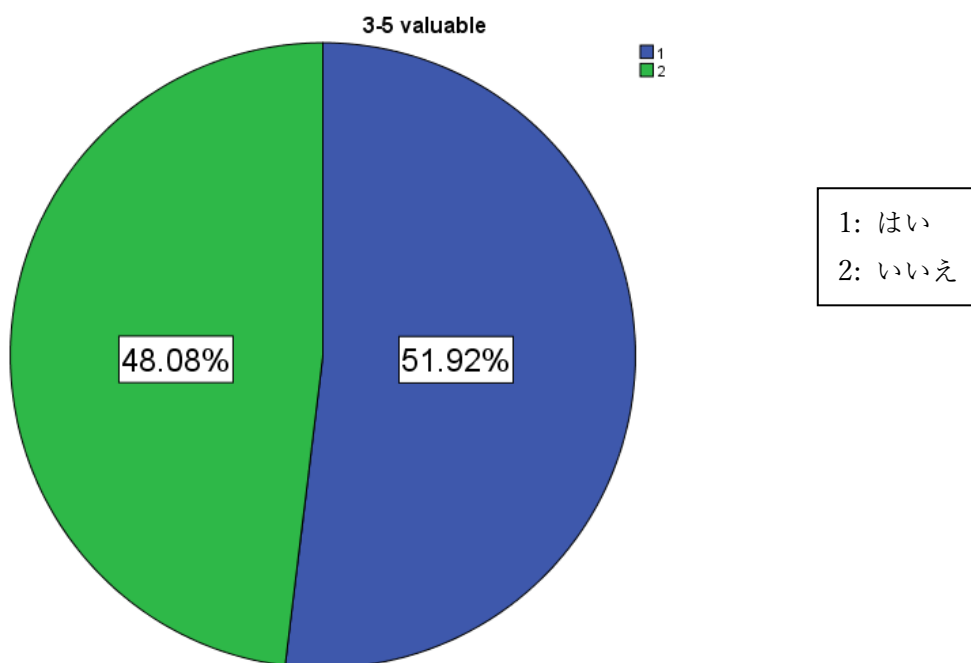
3-3 おもしろい



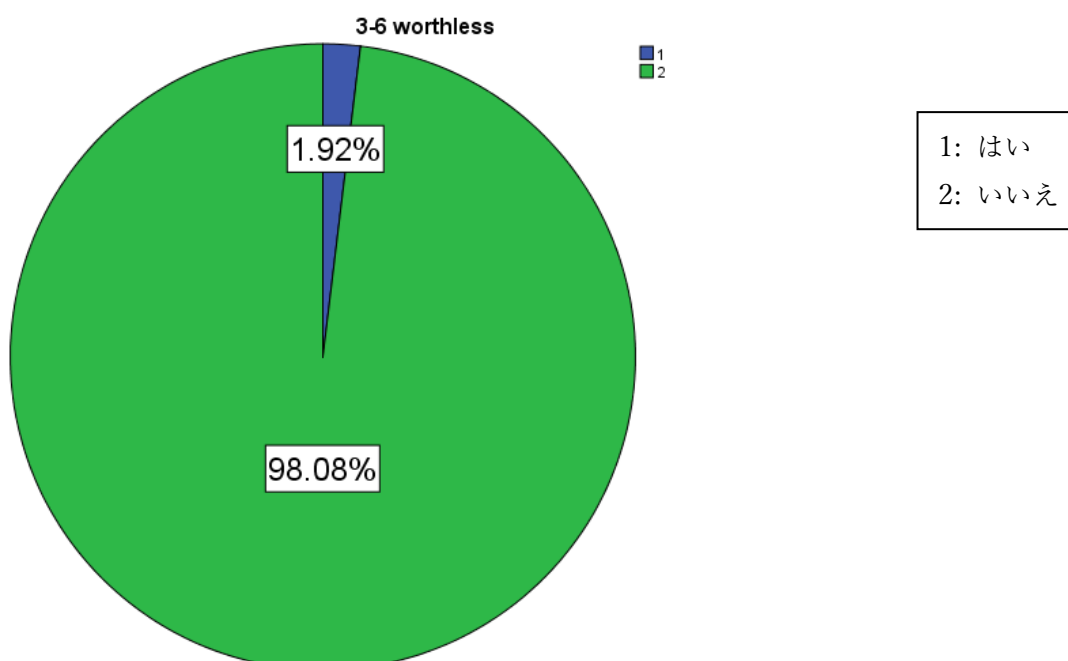
3-4 残酷



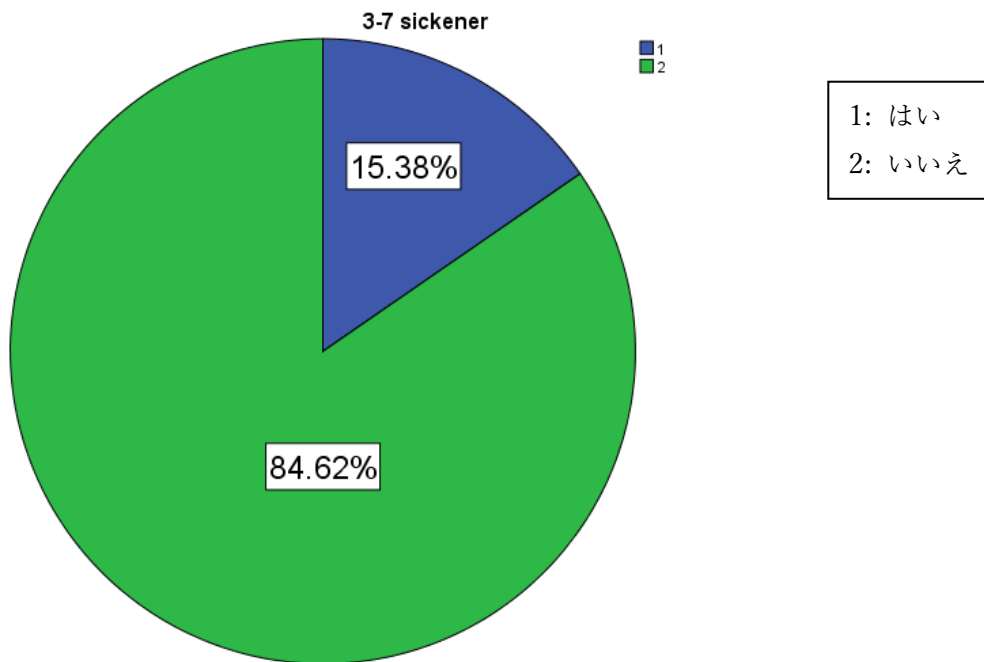
3-5 ためになる



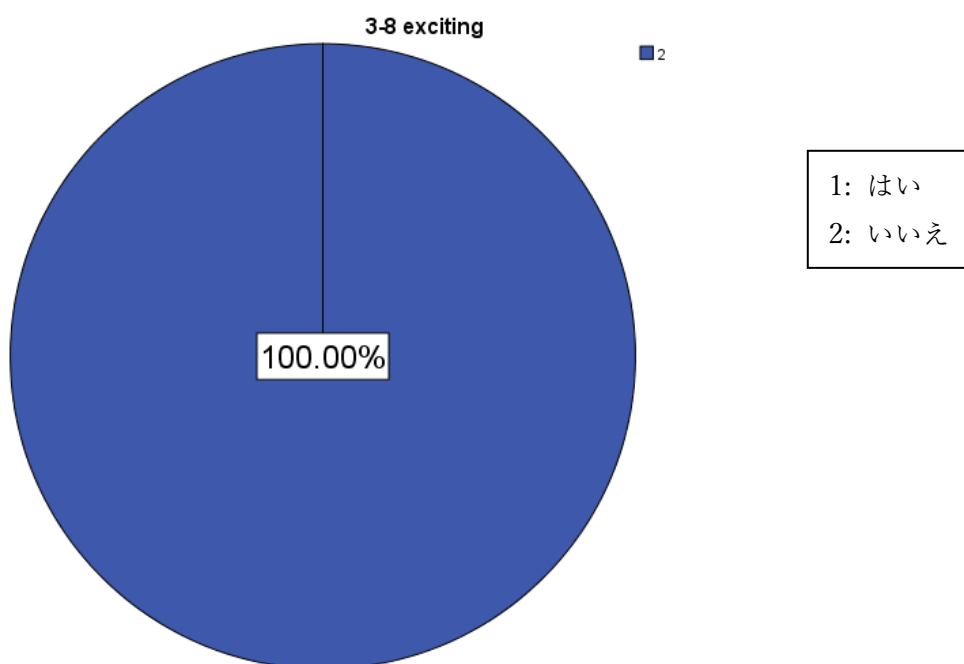
3-6 役に立たない



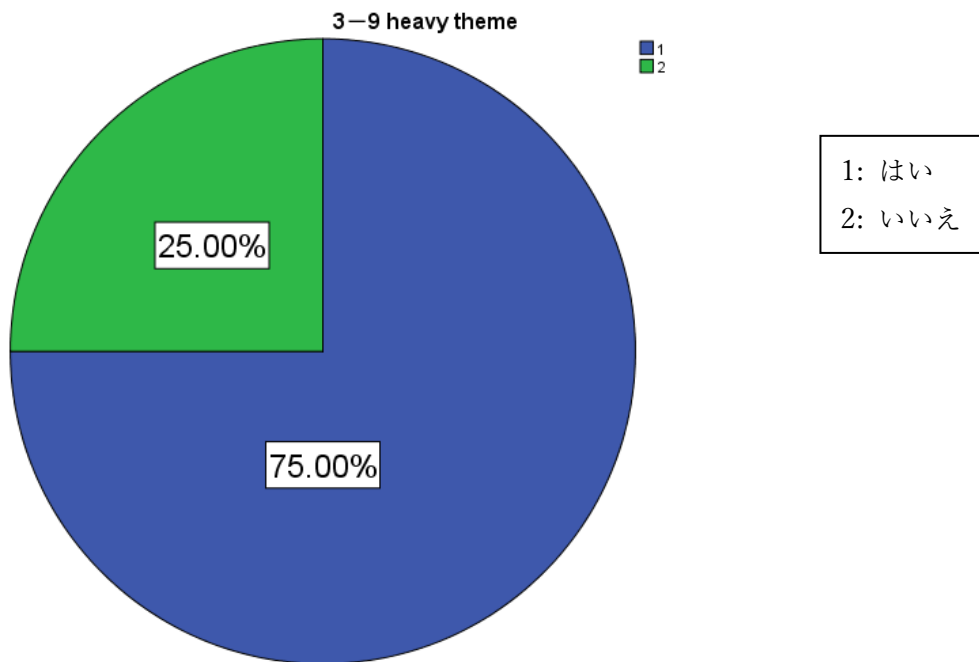
3-7 つまらない、飽き飽きする



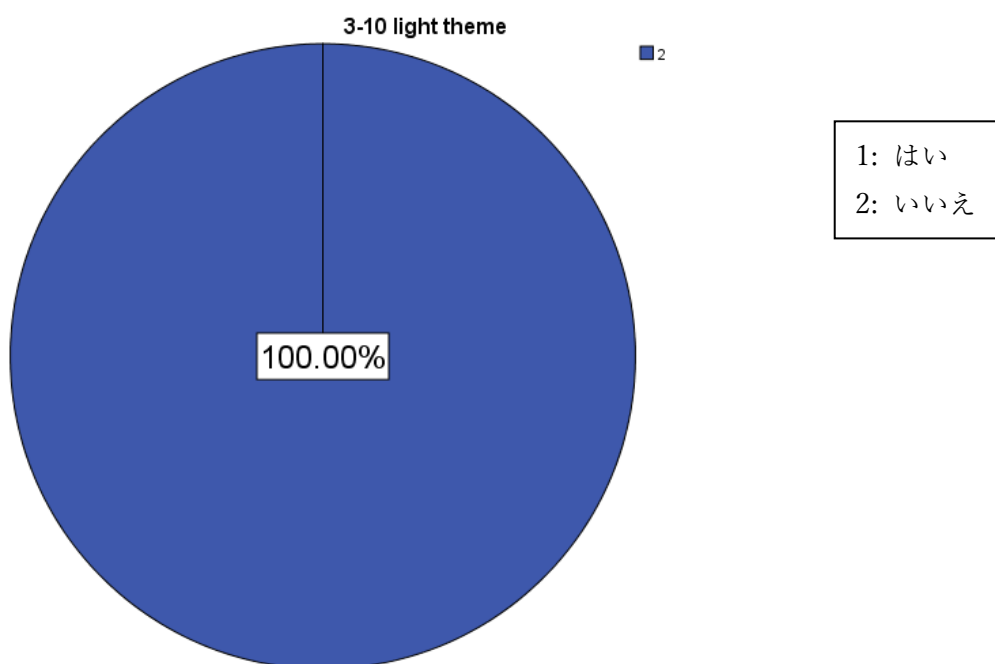
3-8 わくわくする



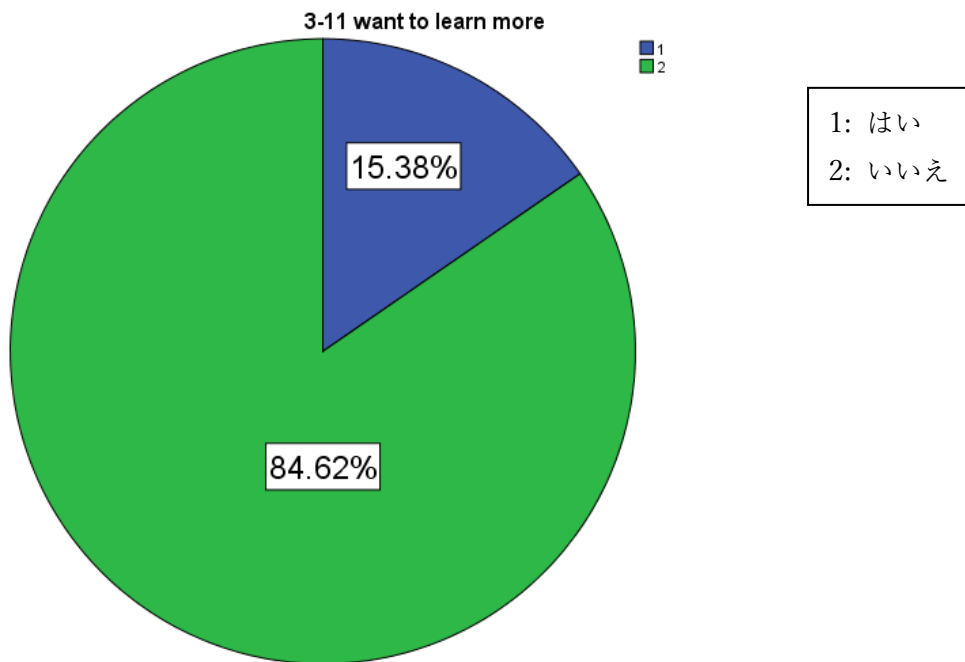
3-9 テーマとして重い



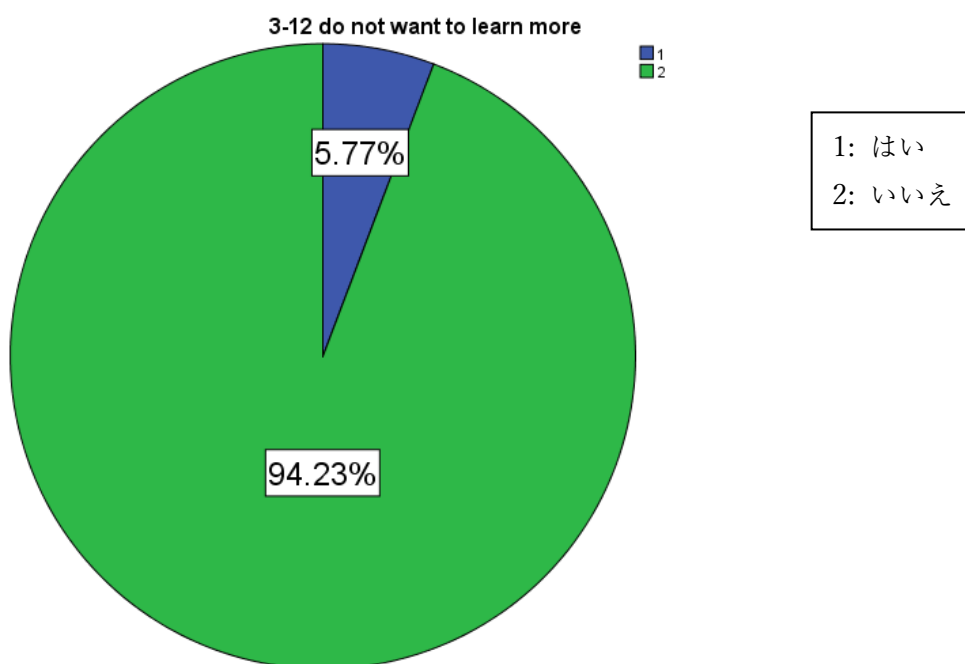
3-10 テーマとして軽い



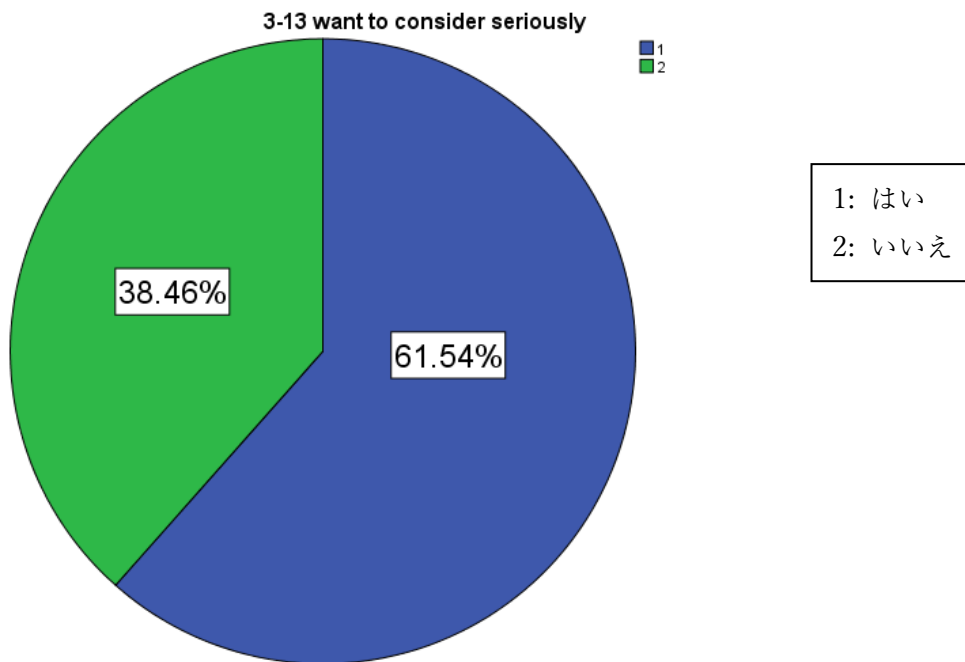
3-1-1 もっと学びたい



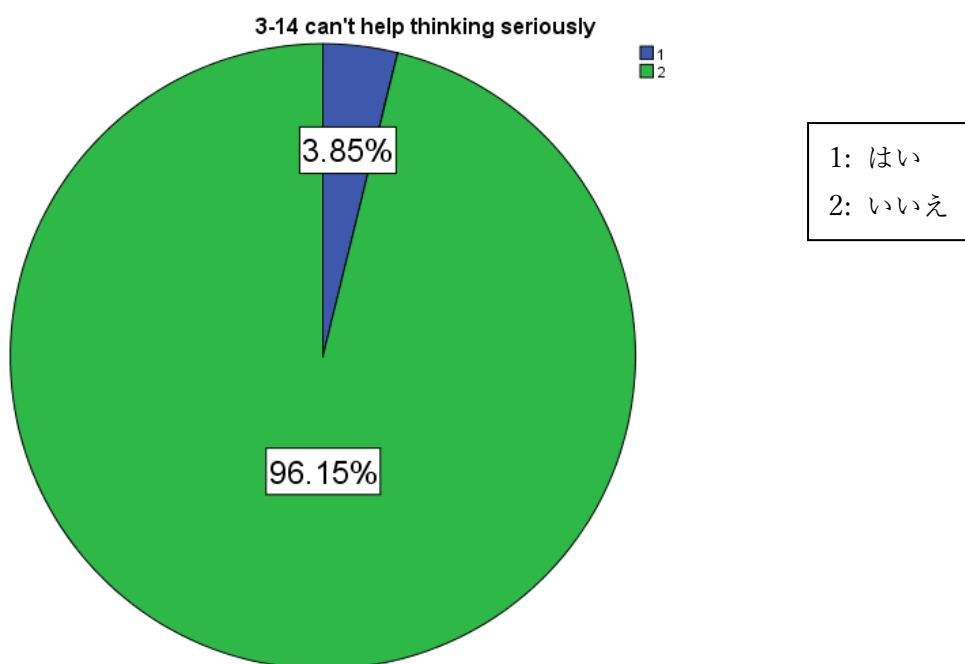
3-1-2 これ以上学びたくない



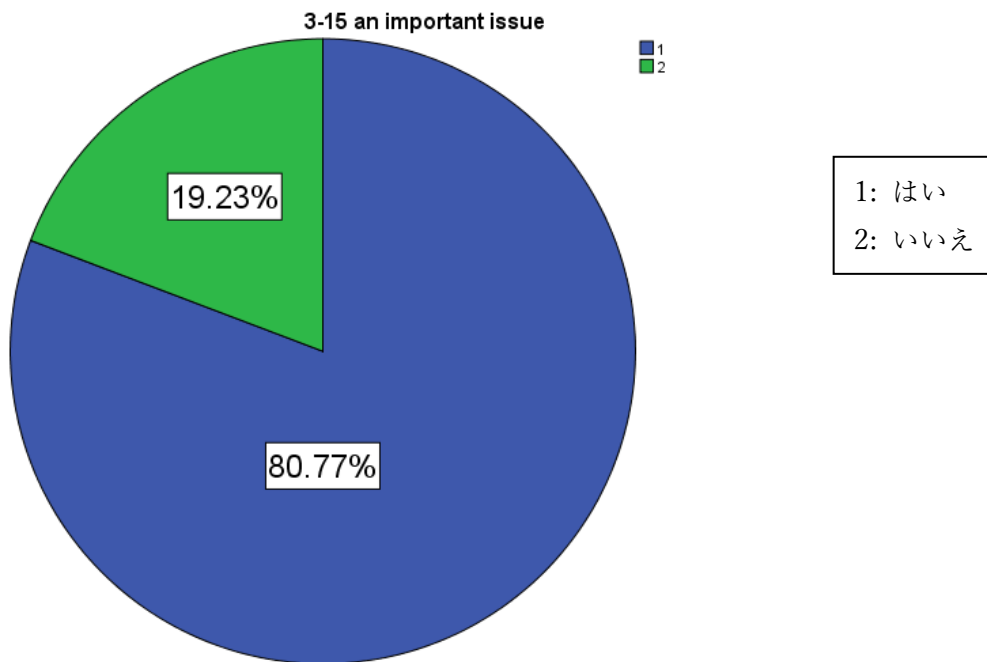
3-13 真剣に考えたい



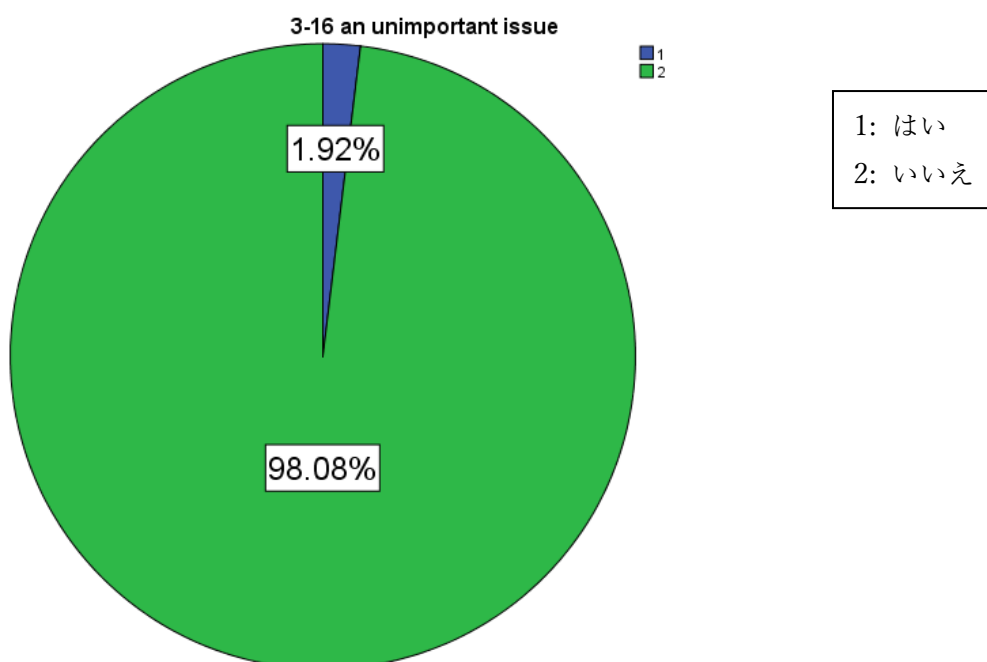
3-14 真剣に考えても仕方がない



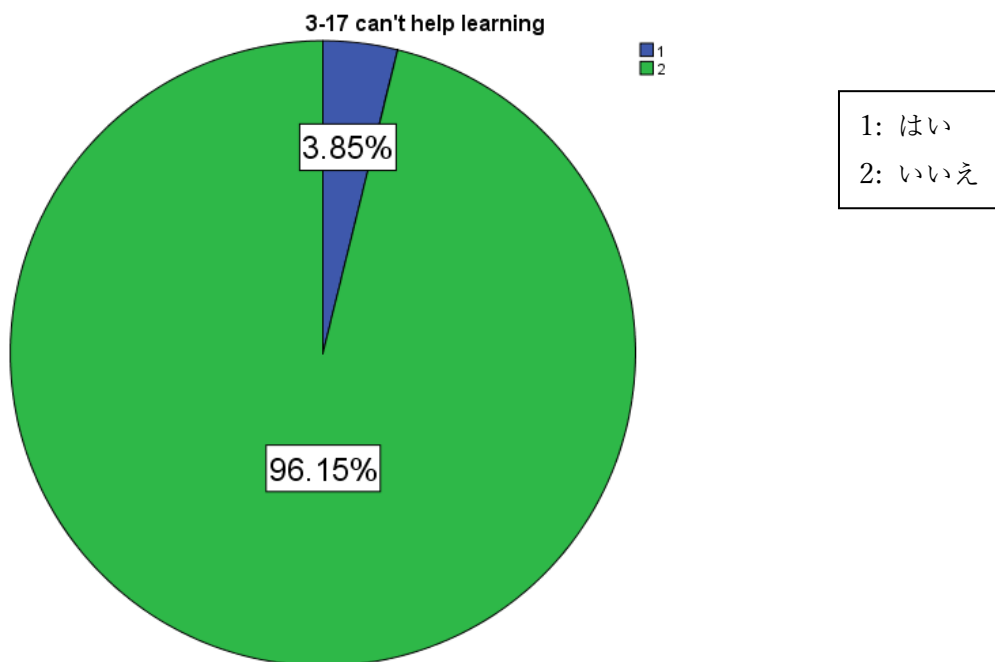
3－1 5 大切な課題



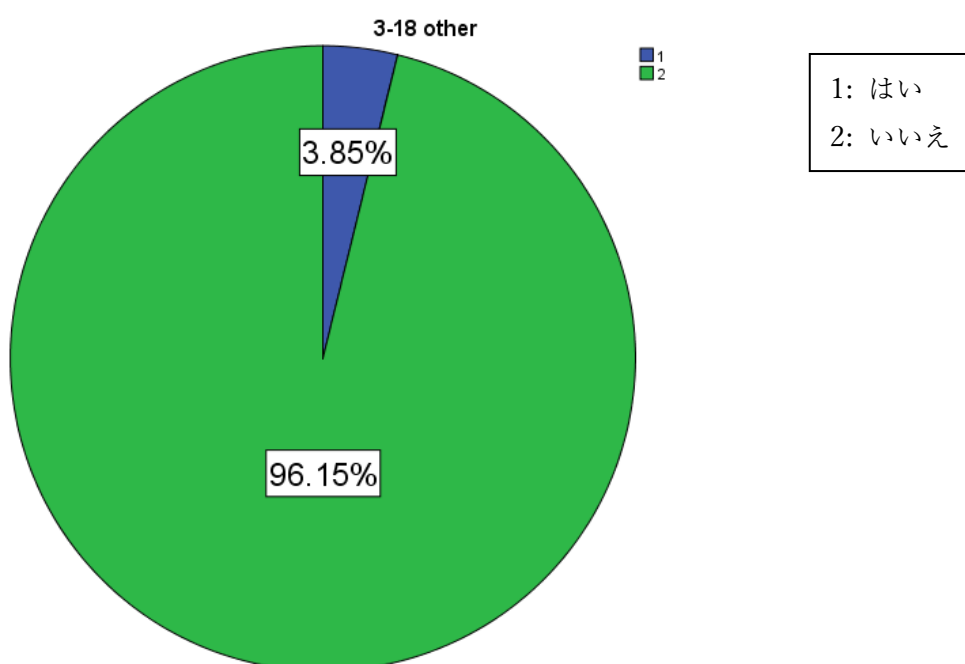
3－1 6 大切な課題ではない



3-17 学んでも仕方がない

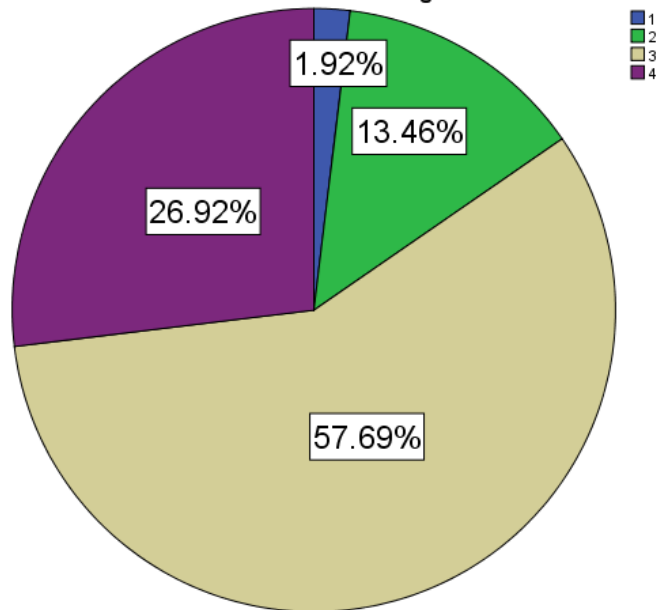


3-18 その他



4. 今まで受けてきた平和学習は平和への思いを強くしたと思いますか。

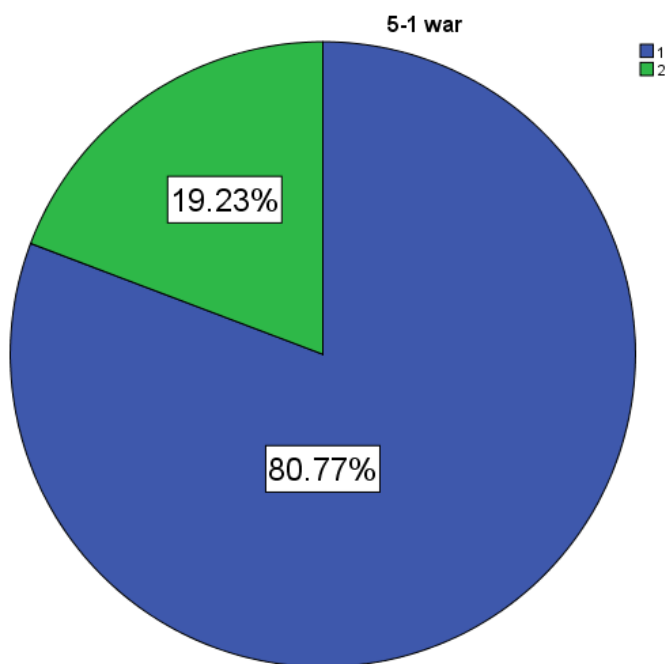
4 Peace Education you have recieved has made your wish to realize World Peace stronger?



1:まったく思わない
2:あまり思わない
3:そう思う
4:とてもそう思う

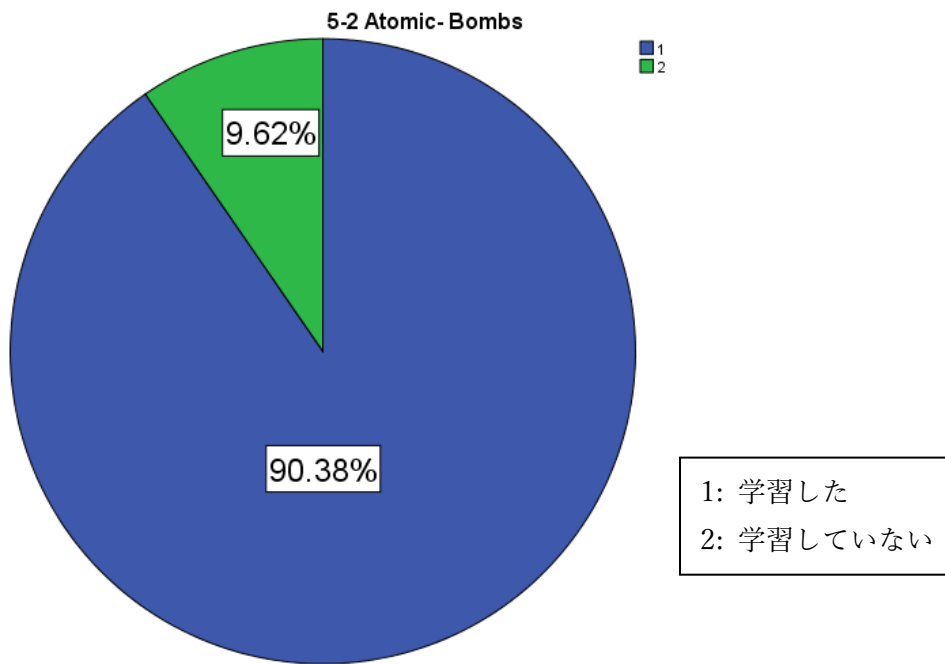
5. 今までどのような平和教育を受けてきましたか。

5 - 1 戦争

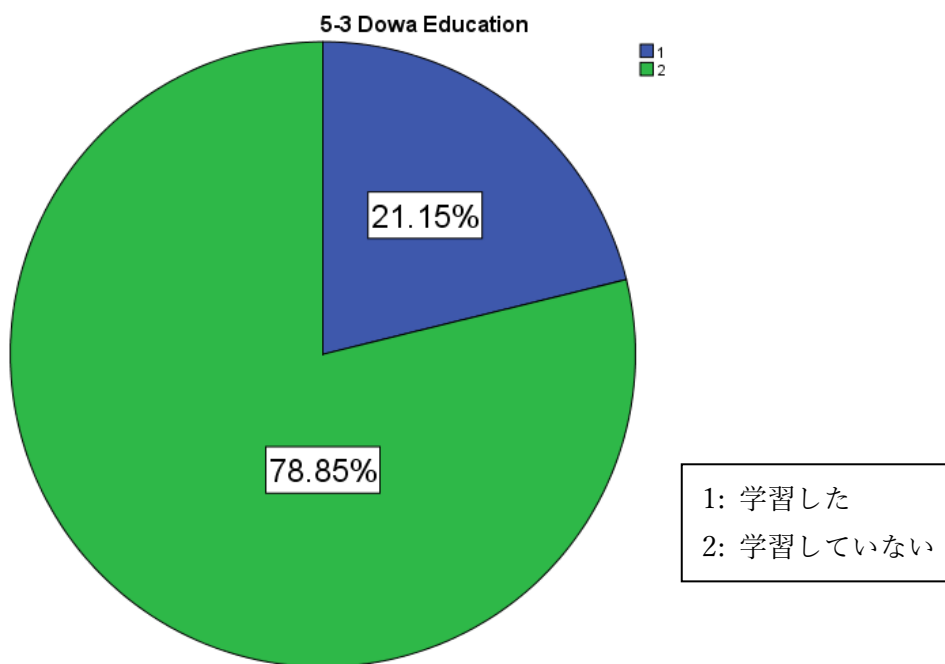


1: 学習した
2: 学習していない

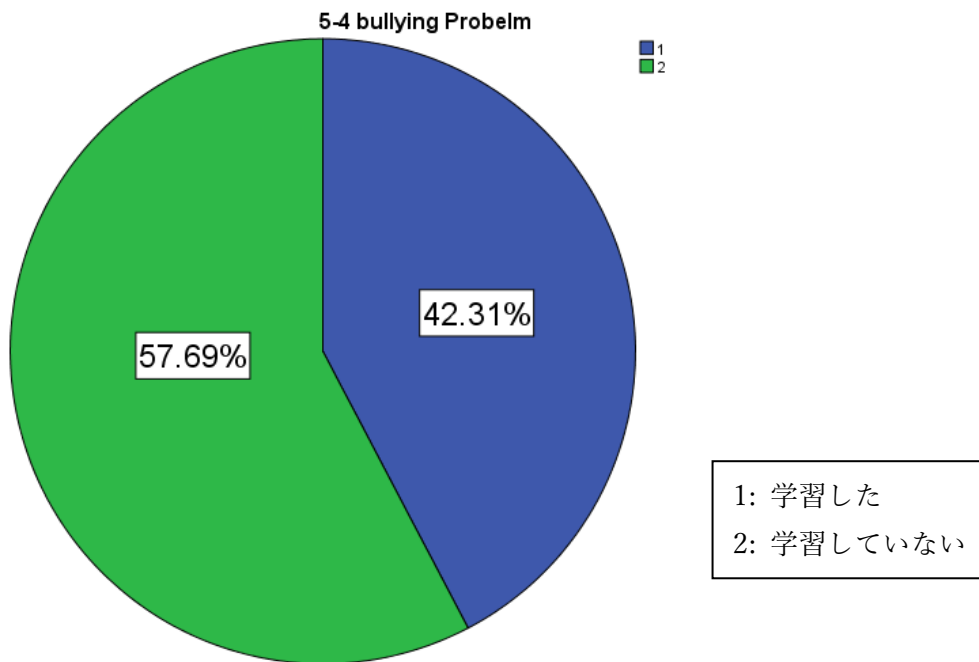
5 - 2 原爆



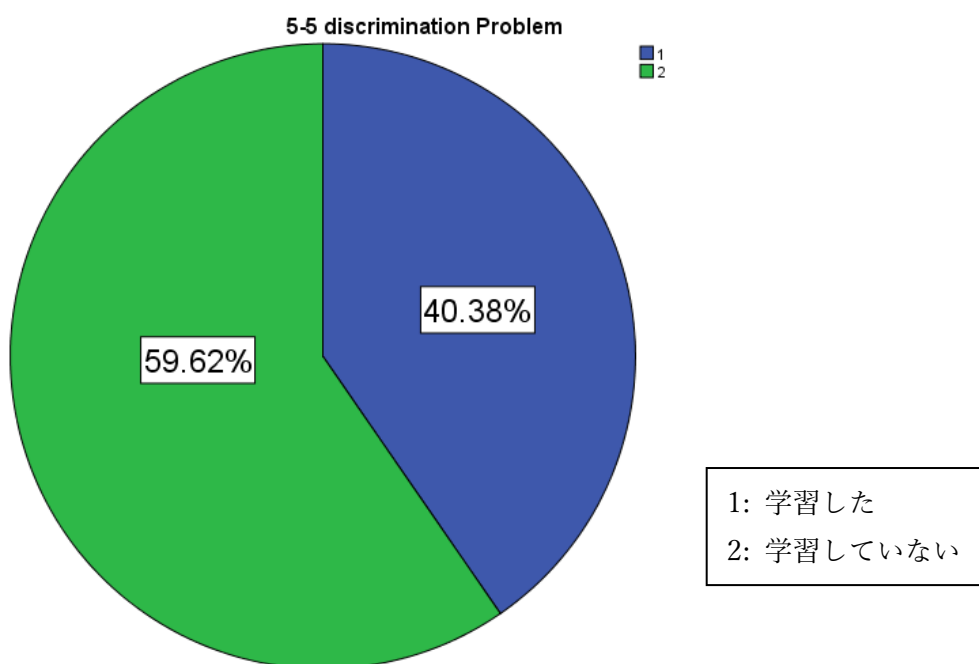
5 - 3 同和問題



5 - 4 いじめ

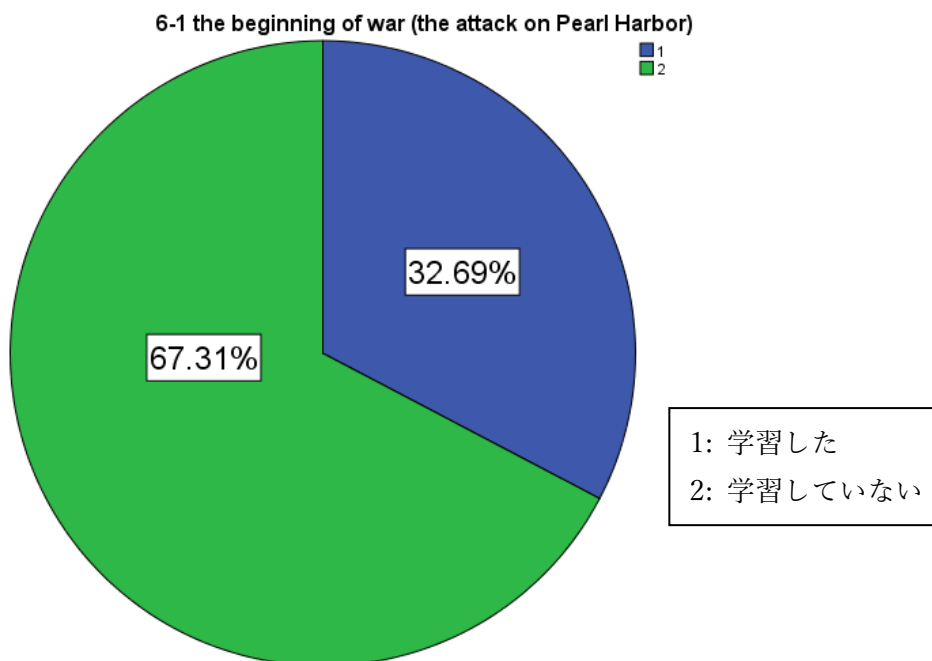


5 - 5 差別問題

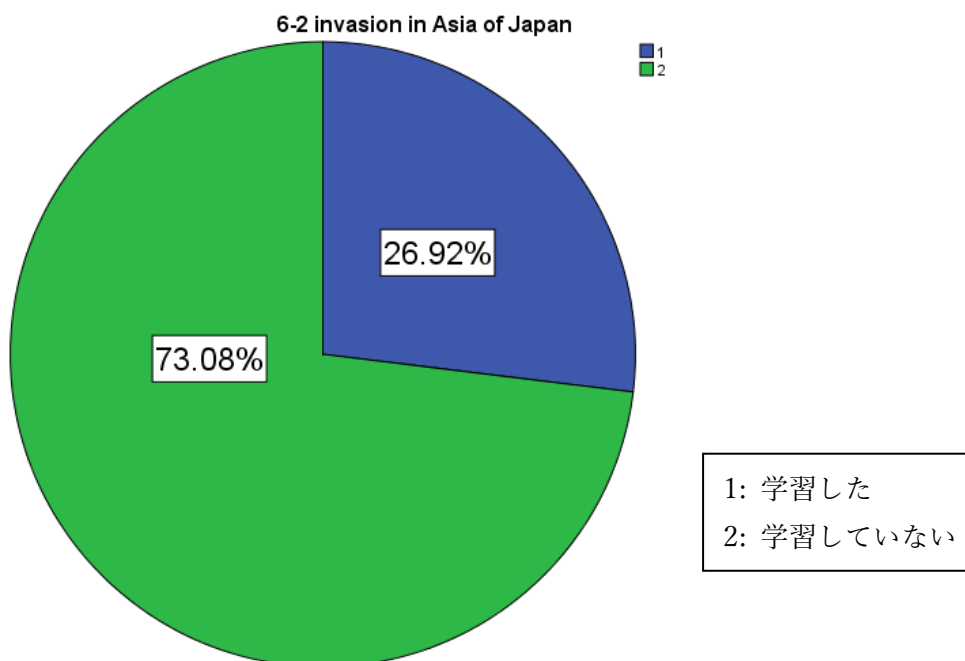


6. 今まで受けてきた平和教育として戦争を扱った授業では、どういうテーマが取り上げられてきましたか。

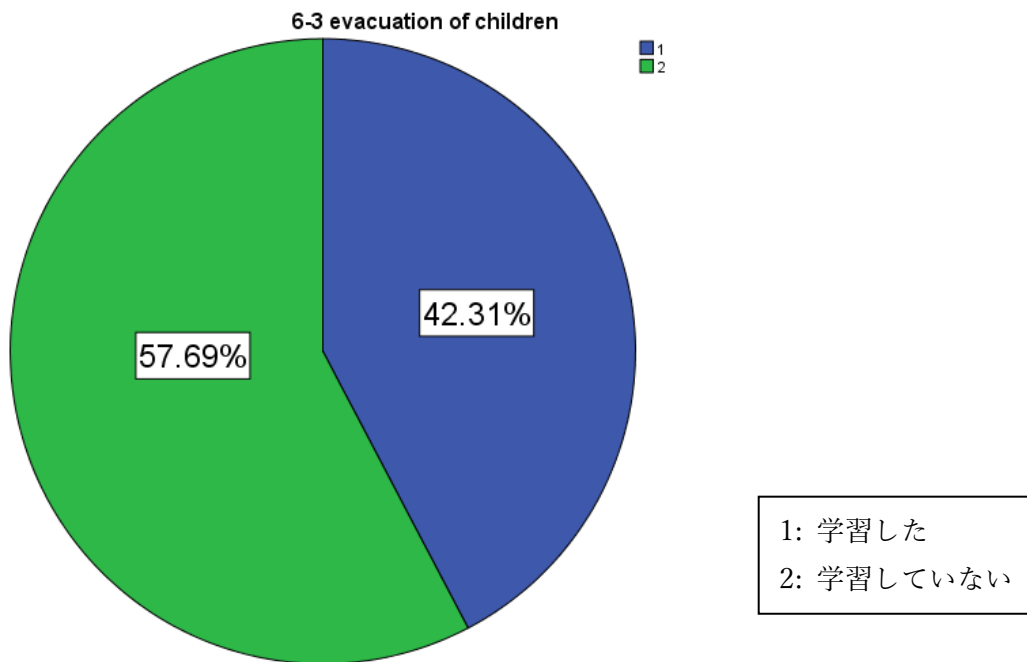
6-1 開戦時のこと（真珠湾攻撃に至った背景を含む）



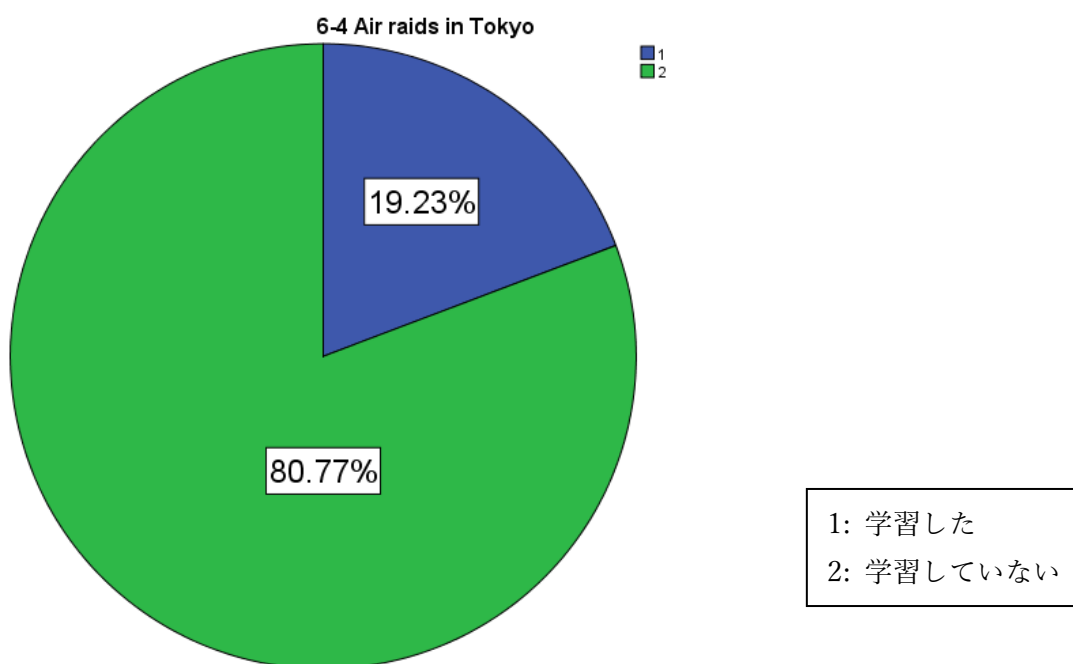
6-2 日本のアジア侵略



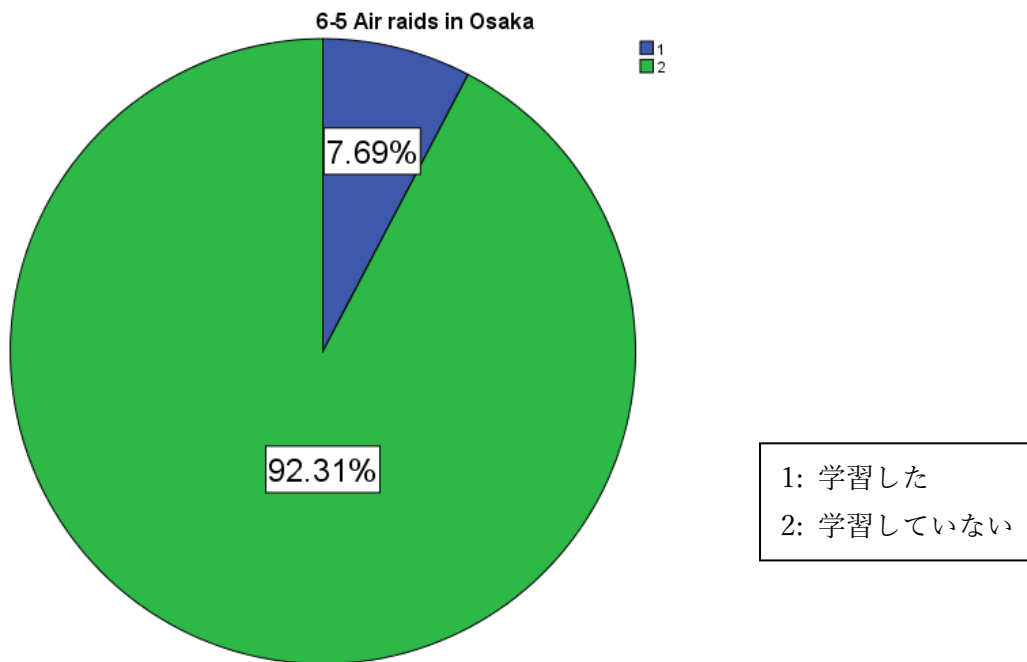
6－3 学童疎開



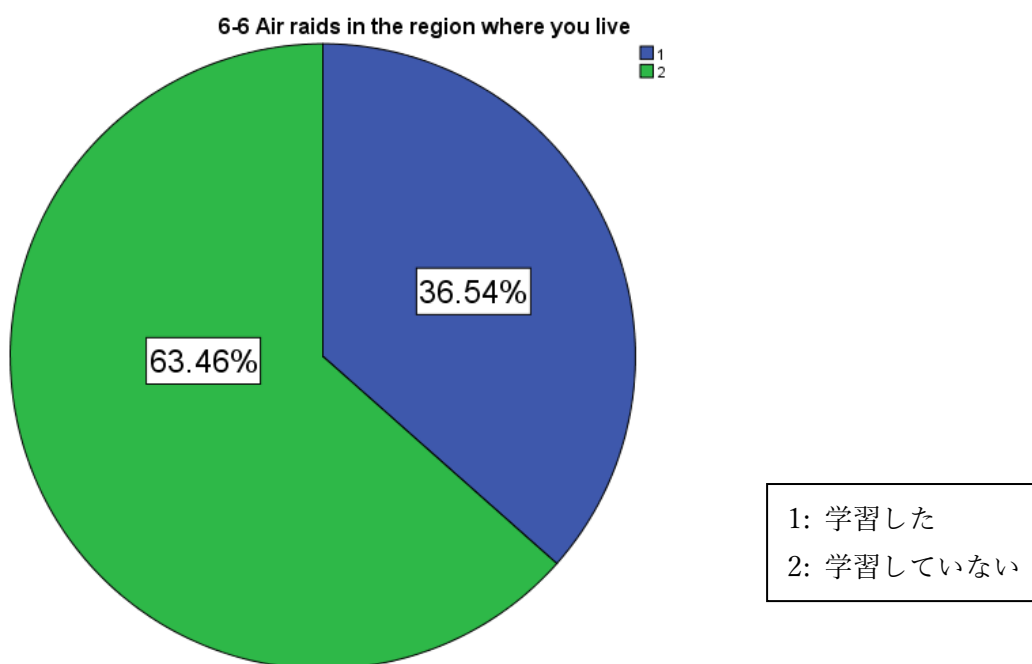
6－4 東京大空襲



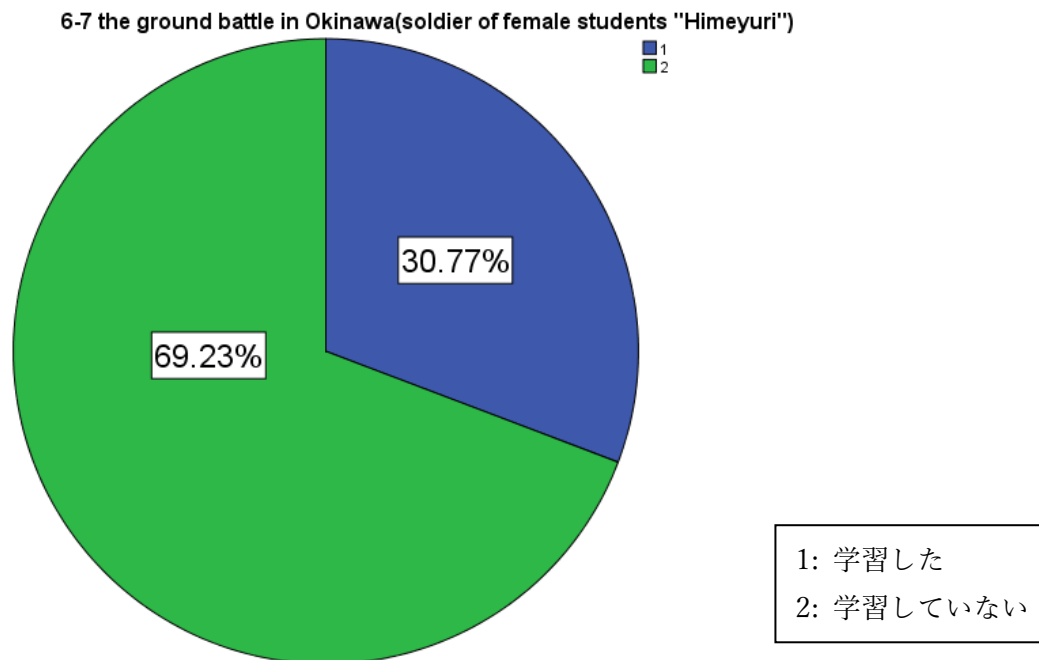
6－5 大阪大空襲



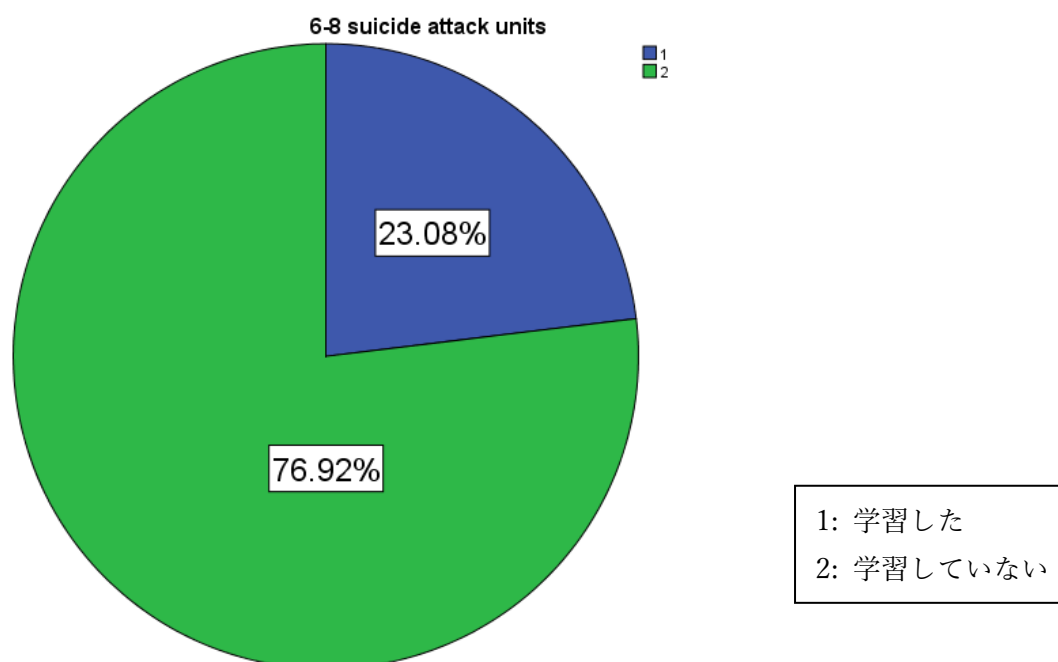
6－6 自分が住む地域の空襲被害



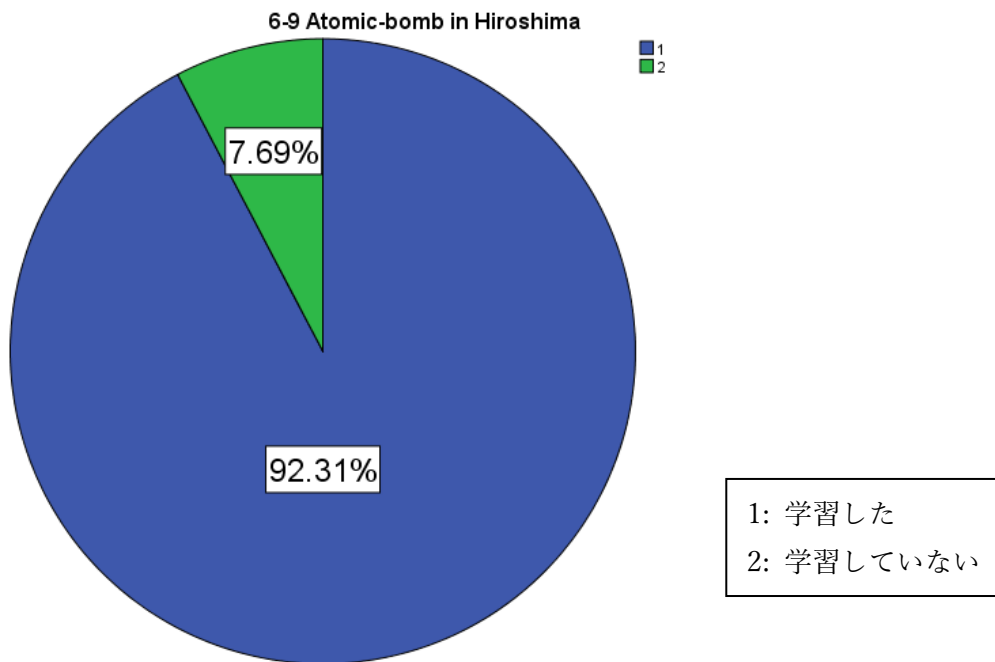
6－7 沖縄戦（ひめゆり学徒隊を含む）



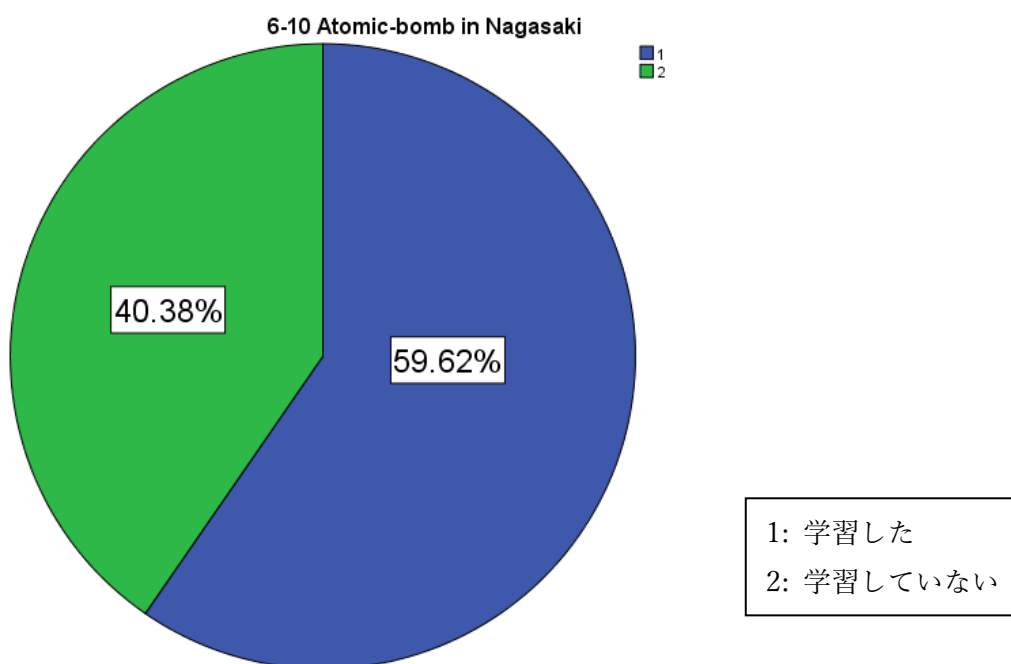
6－8 特攻隊



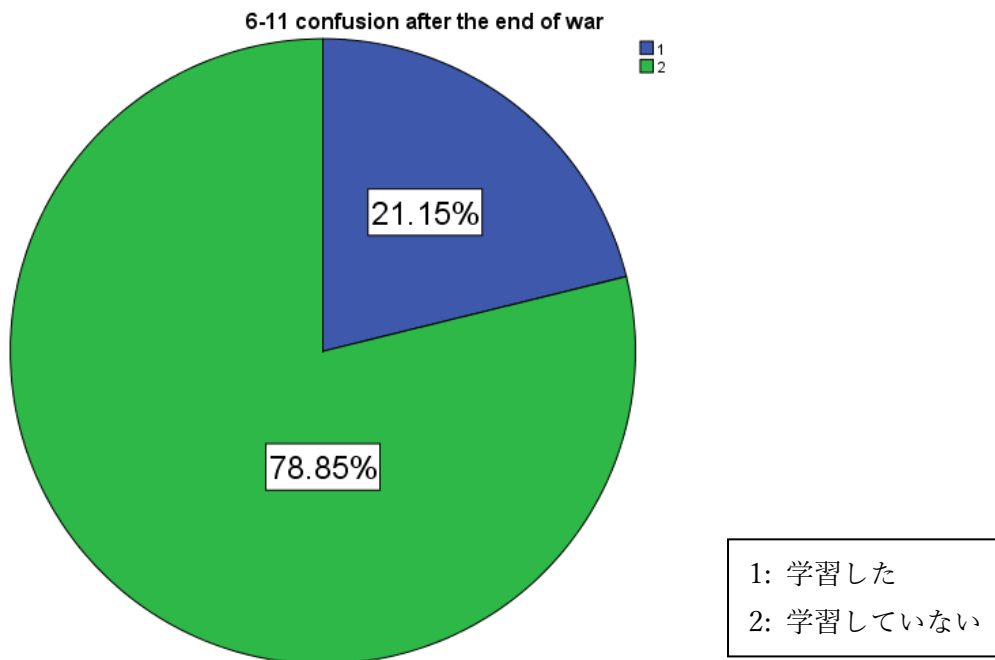
6－9 原爆投下（広島）



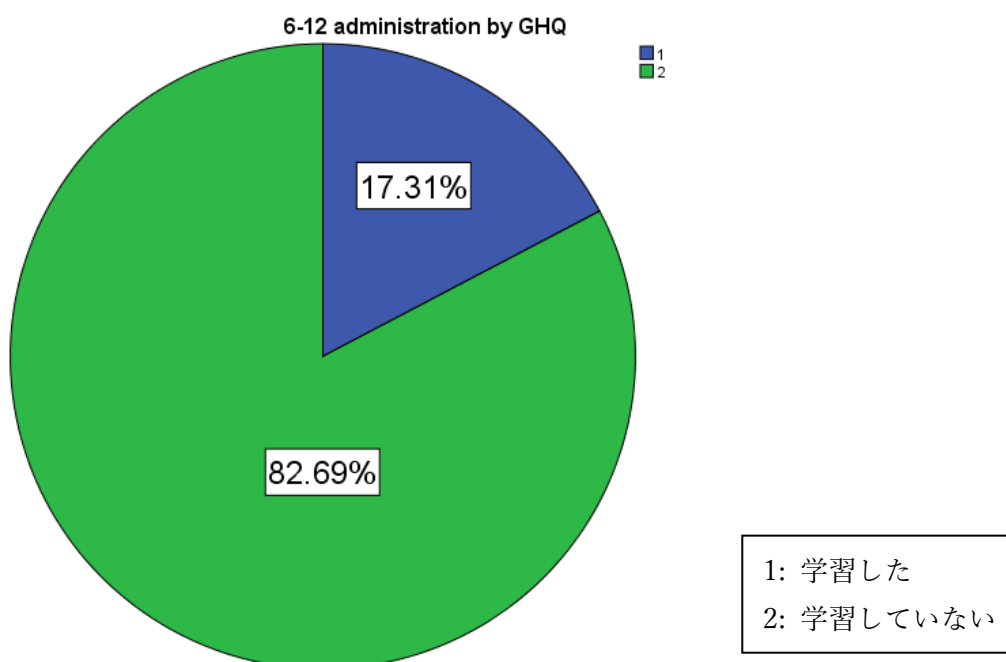
6－10 原爆投下（長崎）



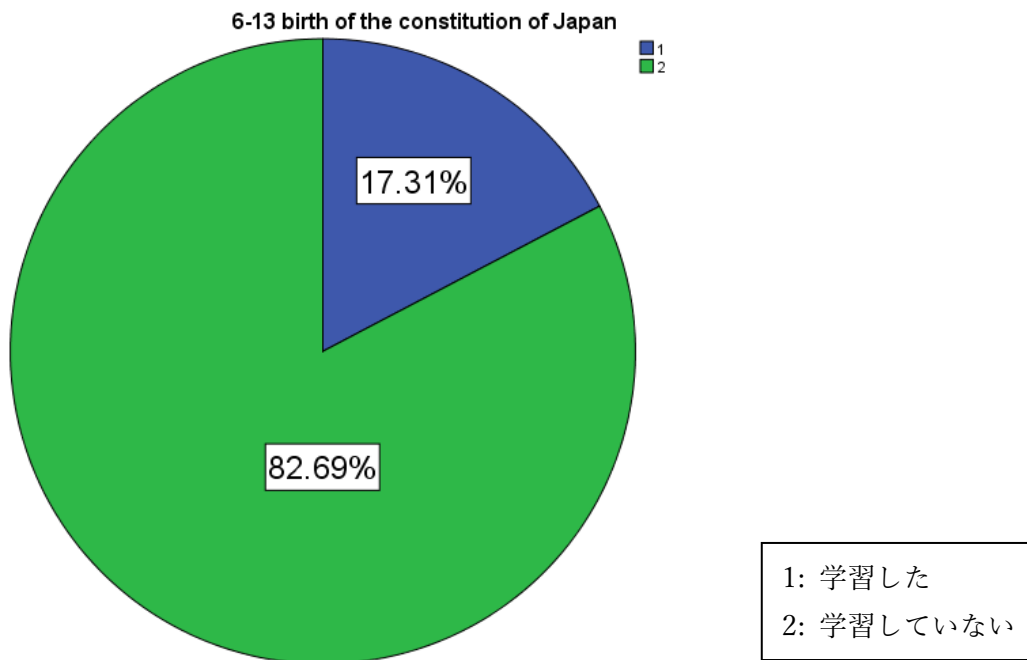
6－1 1 戦後の混乱期のこと



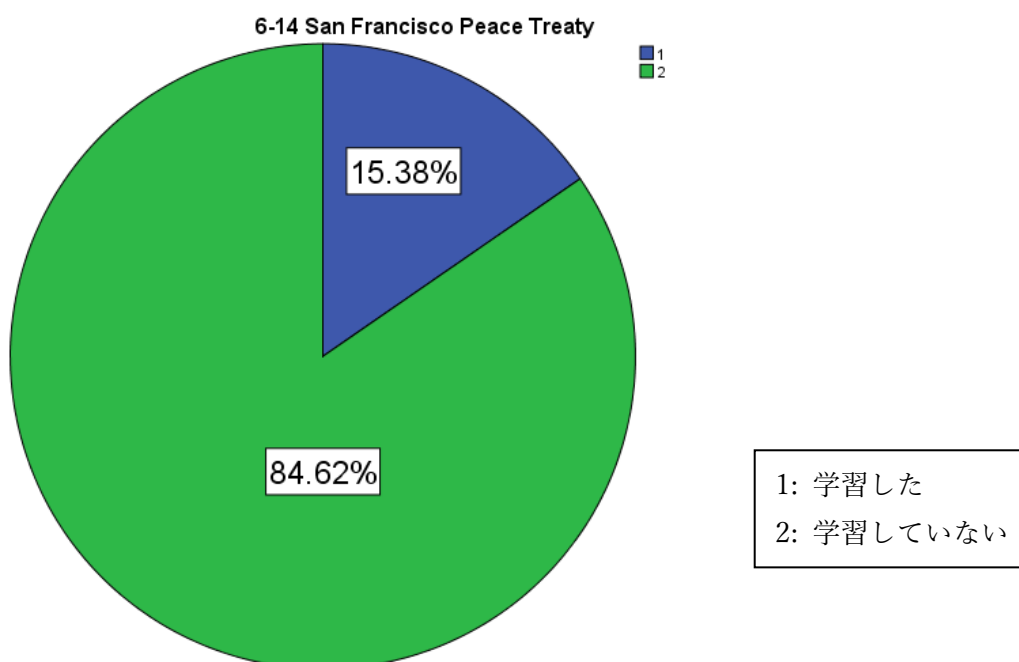
6－1 2 GHQ による統治



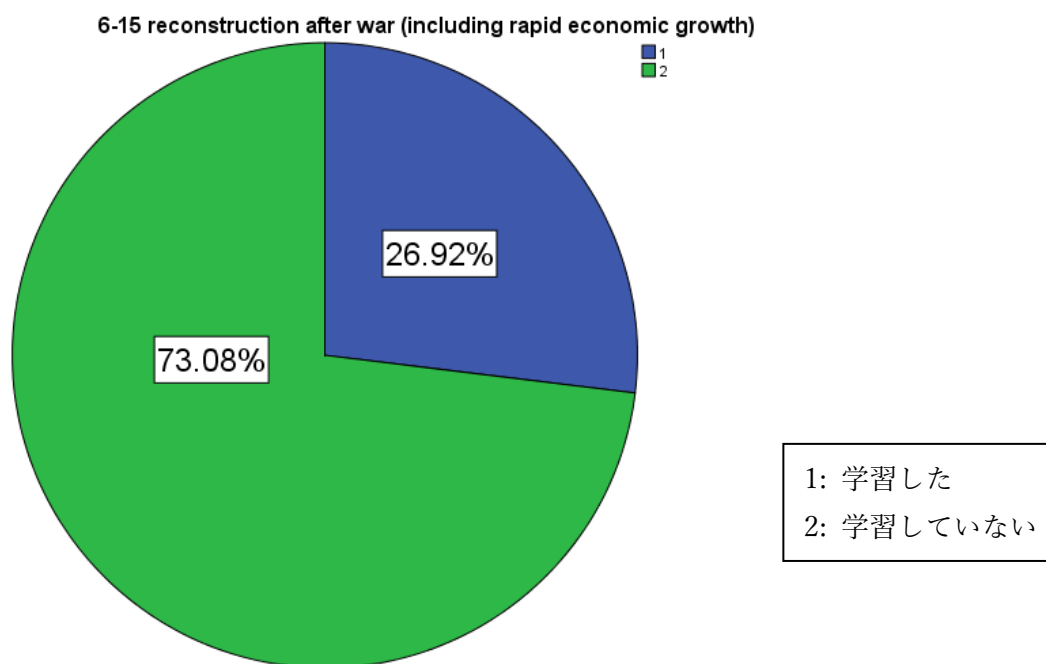
6-13 日本国憲法の誕生



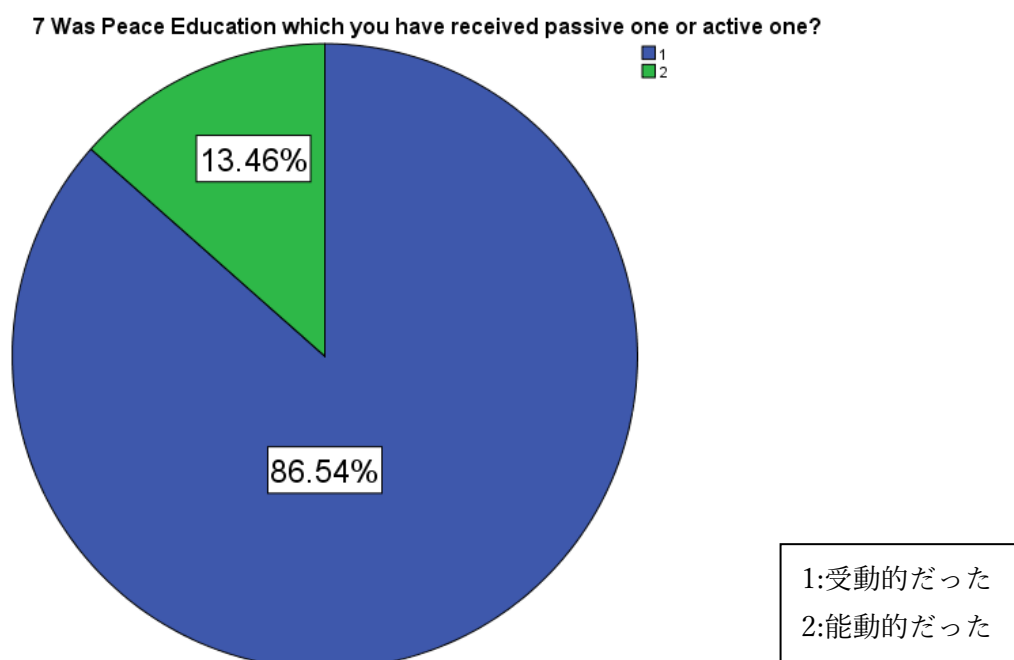
6-14 サンフランシスコ平和条約



6-15 戦後復興のこと（高度経済成長を含む）



7. 今まで受けてきた平和学習の学びの方法は総じて受動的でしたか。能動的でしたか。



活動報告③

7月27日に広島県広島市西区の教専寺で行われた米兵追悼供養式と森重昭氏の講演会に参加しました。亡くなられた米兵の方を追悼し、参加者約150名で折り鶴を折り捧げました。またオバマ氏が広島を訪問した際に抱擁をされた方の一人である歴史研究家の森重昭氏のドキュメンタリー映画『Paper Lanterns』を視聴し、調査に至った経緯や調査結果についての講演をお聴きしました。講演会の中で10分ほど私たちの『Obama Project』について紹介するお時間を頂き、参加者の方から激励の言葉を頂きました。



活動報告④

8月6日平和記念式典に参列し、献花を捧げました。

活動報告⑤

これまで、テレビ・ラジオ・新聞でも取り扱われ、オバマプロジェクトの活動を紹介して頂きました。



今後の活動

2020 年度の活動としては、教専寺での留学生との交流会が予定されています。2020 年の 7 月に教専寺で留学生と広島が学生が平和についてディスカッションし、交流することになっています。今後もこのような活動を継続していきたいと考えております。

(予定していた交流会は、コロナウイルスの影響で留学生との調整が困難となり中止となりました。2020 年 5 月 21 日)

オバマプロジェクトの活動を行うにあたり、ご指導を頂きました県立広島大学人間文化学部国際文化学科教授、植村広美教授、Steven L Rosen 教授、富田和広教授、向居暁教授、栗原武士教授に心より感謝申し上げます。

報告書作成

Obama Project 2019 年度メンバー

県立広島大学 田村優実 東山慧介 庄司涼太 細川穂乃花 時枝真暉
古川萌梨 中谷歩未 西井菜々実 大崎祐芽 重森亮俊